令和６年度　社会福祉法人清風会
事 業 報 告 書

社会福祉法人　清 風 会

目次

1　評議員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2　理事会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
3　法人監事による監査の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4　評議員選任・解任委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・4
5　地域密着型ユニット型特養運営推進会議の開催状況・・・・・・・・4
6　苦情解決第三者委員への苦情受付報告状況・・・・・・・・・・・・5
7　規程等の制定、改定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
8　利用者満足度調査の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
9　介護サービス自己評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・7
10　職員の施設別・職種別構成等・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
11　職員の採用・退職等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
12　職員の休暇等取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
13　職員外部研修派遣状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
14　資格取得支援制度による支援適用状況・・・・・・・・・・・・・・11
15　特別養護老人ホームあいぜんの里の事業報告
　(1) 特別養護老人ホームあいぜんの里（長期）の運営状況・・・・12
　(2) 特別養護老人ホームあいぜんの里（短期）の運営状況・・・・13
　(3) 特別養護老人ホームあいぜんの里実践内容実施報告書・・・・14
　(4) 行事、活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　(5) 事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・・18
16　ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の事業報告
　(1) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の運営状況・・・19
　(2) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里実践内容
　　実施報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　(3) 行事、活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　(4) 事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・・24
17　あいぜんの里デイサービスセンターの事業報告
　(1) あいぜんの里デイサービスセンターの運営状況・・・・・・・26
　(2) あいぜんの里デイサービスセンター実践内容実施報告書・・・27
　(3) 行事、活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
　(4) 事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・・29
18　あいぜんの里居宅介護支援事業所・在宅介護支援センターの事業
　報告
　(1) 居宅介護支援事業所運営状況・・・・・・・・・・・・・・・・30
　(2) 在宅介護支援センター運営状況、地域支援の取り組み・・・・31

(3) 居宅介護事業所・在宅介護支援センター実践内容実施
報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
(4) 事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・ 35
19 各種委員会の活動報告
(1) 安全衛生委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
(2) 研修委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
(3) 広報委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
(4) 感染症対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
(5) 安全対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
(6) 高齢者虐待防止検討委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
(7) 身体拘束廃止委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
(8) 栄養管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
(9) 防災・車両の安全運行委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

1　評議員会の開催状況

○第１回

日　　時　　令和６年６月14日(金)午後６時29分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　評議員９名(欠席１名)　理事３名　監事２名
議　　題　　①経過報告
②令和５年度計算書類及び財産目録の承認について
③令和５年度事業報告について
④その他

○第２回

日　　時　　令和６年９月20日(金)午後６時30分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　評議員８名(欠席２名)　理事３名　監事２名
議　　題　　①経過報告
②経営改善計画について
③その他

2　理事会の開催状況

○第１回

日　　時　　令和６年５月24日(金) 午後６時30分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　理事８名（欠席１名)、監事２名
議　　題　　①経過報告
②令和５年度事業報告並びに令和５年度計算関係書類及び財産目録の承認について
③評議員選任・解任委員会の選任について
④令和６年度定時評議員会の開催について
⑤理事長の職務執行状況について
⑥その他

○第２回

日　　時　　令和６年８月30日（金）午後６時30分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール

出 席 者　理事９名、監事２名

議　　題　①経過報告

②経営改善計画について

③令和６年度第２回評議員会の開催について

④理事長の職務執行状況について

⑤令和６年度第１四半期会計実績及び定期監査の結果について

⑥諸規程の改正等について

⑦その他

○第３回

日　　時　決議があったものとみなされた日

令和６年12月16日(月)

書面による理事全員（９名）の同意書並びに監事全員（2 名）の確認書による。

議　　題　①令和６年度第２四半期会計実績及び定期監査の結果について

②令和６年度介護保険施設等の運営指導及び社会福祉施設指導監査の結果について

○第４回

日　　時　令和７年２月28日(金) 午後６時30分

場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール

出 席 者　理事８名（欠席１名)、監事２名

議　　題　①経過報告

②令和６年度第１次資金収支補正予算（案）について

③理事長の職務執行状況について

④令和６年度第３四半期会計実績及び定期監査の結果について

⑤諸規程の改正について

⑥その他

○第５回

日　　時　令和７年３月28日(金)午後６時30分

場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール

出 席 者　理事８名（欠席１名)、監事１名（欠席１名)

主な議題　①経過報告

②令和７年度資金収支予算(案)について

③令和７年度事業計画（案）について

④苦情解決第三者委員の選任について

⑤法令遵守責任者の選任について
⑥法人役員賠償責任保険の更新加入について
⑦年度末手当の支給について
⑧その他

3　法人監事による監査の実施状況

○第１回　　令和５年度決算監査
日　　時　　令和６年５月16日(木)午前10時00分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　　監事２名
監査項目　　①令和６年３月31日現在の預貯金残高及び借入金残高の確認
②令和６年５月15日現在の現金残高の確認
③令和５年４月１日から令和６年３月31日までの期間に係る
事業報告及び計算関係書類等の監査

○第２回　　令和６年度第１四半期定期監査
日　　時　　令和６年８月21日(水)分から午前10時
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　　監事２名
監査項目　　①令和６年４月１日から６月30日までの事業の運営状況の確認
②令和６年４月１日から６月30日までの出納調査

○第３回　　令和６年度第２四半期定期監査
日　　時　　令和６年12月４日(水)午後２時00分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　　監事２名
監査項目　　①令和６年７月１日から９月30日までの事業の運営状況の確認
②令和６年７月１日から９月30日までの出納調査

○第４回　　令和６年度第３四半期定期監査
日　　時　　令和７年２月12日(水)午後２時00分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　　監事２名
監査項目　　①令和６年10月１日から12月31日までの事業の運営状況の確認
②令和６年10月１日から12月31日までの出納調査

4　評議員選任・解任委員会の開催状況

開催なし

5　地域密着型ユニット型特別養護老人ホーム運営推進会議の開催状況

○第１回

日　　時　令和６年４月26日(金)午後３時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　外部委員５名（欠席３名)、職員７名
議　　題　①令和６年度の事業計画について
②利用者の状況について
③活動報告について
④事故・苦情報告について
⑤その他（意見交換等）

○第２回

日　　時　令和６年６月28日(金)午後３時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　外部委員５名（欠席３名)、職員８名
議　　題　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第３回

日　　時　令和６年８月30日(金)午後３時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　外部委員４名（欠席４名)、職員７名
主な議題　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第４回

日　　時　令和６年10月25日(金)午後３時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール

出 席 者　外部委員６名（欠席２名)、職員６名
主な議題　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第５回
日　　時　令和６年12月20日(金)午後３時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　外部委員４名（欠席４名)、職員５名
主な議題　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第６回
日　　時　令和７年２月28日(金)午後３時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　外部委員６名（欠席２名)、職員５名
主な議題　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

6　苦情解決第三者委員への苦情受付報告の状況

報告件数　１件（ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里）

報告年月日	出席委員	報告内容・対応等
令和６年６月18日 （受付５月30日）	２名	利用者から不適切で威圧的な対応をする職員への苦情。事情を確認中に自己都合退職することとなり、申立人よりこれ以上は望まないと申し出があったことから当事案は終了となった。 第三者委員からは、受付から処理、報告までの期間をもう少し迅速にすること、並びに公表する場合には、関係者が特定されないよう十分配慮することとアドバイスがあった。

7　規程等の制定、改定状況

規程等の名称	制定・改定/施行日	備考
就業規則	令和６年４月１日	定年に関する規定改定　ほか
準職員就業規則	令和６年４月１日	年次有給休暇に関する規定改定　ほか
賃金規程	令和６年４月１日	賃金別表の改定　ほか
準職員賃金規程	令和６年４月１日	賃金別表の改定　ほか
育児・介護休業等に関する規程	令和６年４月１日	改廃の手続きに関する規定追加（附則から変更）ほか
指定介護老人福祉施設事業運営規程	令和６年４月１日	虐待の防止のための措置に関する事項の追加　ほか
ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里運営規程	令和６年４月１日	口腔衛生の管理、掲示に関する事項の追加　ほか
指定短期入所生活介護（指定介護予防短期入所生活介護）事業運営規程	令和６年４月１日	短期入所生活介護と介護予防短期入所生活介護の運営規程を統合　ほか
デイサービスセンター指定通所介護（通所型サービス）事業運営規程	令和６年４月１日	通所介護と第１号通所事業（通所型サービス）の運営規程を統合　ほか
指定居宅介護支援事業所運営規程	令和６年４月１日	虐待防止のための措置に関する事項の追加　ほか
表彰規程	令和６年４月１日	目的、表彰に関する規定改定　ほか
ハラスメント防止規程	令和６年４月１日	目的、懲戒、相談及び苦情への対応に関する規定改定
相談・苦情解決規程	令和６年７月25日	趣旨、苦情解決責任者、第三者委員の報酬及び費用弁償に関する規定改定　ほか
コンプライアンス規程	令和６年９月１日	制定

8　利用者満足度調査の実施状況

実施月	事業所名	対象	方法	調査依頼数	回答数
1月～2月	特別養護老人ホームあいぜんの里	長期利用者	相談員、介護支援専門員による聞き取り	30	29
		短期利用者(2月利用者の中から)		18	12
	ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里	長期利用者		13	13
	特別養護老人ホームあいぜんの里	長期利用者家族	郵送	47	33
		短期利用者（2月利用者の中の）家族		30	12
	ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里	長期利用者家族		16	13
				対象事業所不明（長期入所者家族）	4
			合計	154	116
				回収率　75%	

＜評価＞

サービス提供状況（食事や排泄、入浴等）についての設問に対し、利用者家族の約7割から「満足、どちらかと言えば満足」という回答を得たが、「わからない」も約3割であった。感染症等の予防により居室スペースでの面会を制限していることや家族等と一緒に行う行事の減少によって、利用者家族等が現認できる機会と、事業所と家族等との情報交換が少なくなっていることが要因の一部と思われる。広報やHP以外の情報発信の手段、機会について考えていく。

実施月	事業所名	対象	方法	調査依頼数	回答数
2月～3月	あいぜんの里デイサービスセンター	利用者（家族）	利用日に配布	74	64
				回収率　86%	

＜評価＞

サービス内容についての各設問に対し「非常に満足、やや満足」が概ね6割を超えていたが、「普通」も一定数あったことと、無回答が多い項目も多かった。家族が代行して記入する場合には、事業所から発信された情報量、内容がポイントとなることがわかった。意見があった項目について（送迎時間等）は、協議、検討を行っていく。

9　介護サービスの自己評価の実施状況

各事業所の主任職以上を対象として自事業所の介護サービスの質について自己評価を実施した。【実施月　令和7年2月】

＜評価＞

自事業所内で課題となるもの、取り組むべき事項等が明確になった。令和7年度は評価の際の着眼点に対する共通理解を図るための取組（ディスカッション等）後に評価を実施する。

10　職員の施設別・職種別構成等（令和７年３月 31 日現在）

(1)特別養護老人ホームあいぜんの里・ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里
従来型（併設短期入所事業所含む）：入所定員 長期 50　短期 20
地域密着型ユニット型：入所定員　長期 20

職　　名	基準	配置	付　　記
施 設 長	1	1	
副施設長	—	1	
事 務 長	—	1	
生活相談員	1	3	
介護支援専門員	1	2	兼務 1
介護職員（従来型）	24	28	うちパート常勤換算 3
介護職員（ユニット型）	7	9.4	うちパート常勤換算 2.4
看護職員	4	6.4	うちパート常勤換算 2.4
管理栄養士	1	1	
機能訓練指導員	1	1	
歯科衛生士	—	0.25	パート常勤換算 0.25
事 務 員	—	4	
施設整備担当	—	3.1	うちパート常勤換算 1.1
洗濯員	—	0.9	パート常勤換算 0.9
医　　師	1	2	嘱託医（内科医 1、皮膚科医 1） ※配置医師のほか協力歯科医 1

(2) あいぜんの里デイサービスセンター
通所介護・総合事業（通所型サービス）：一日利用定員　25

職　　名	基準	配置	付　　記
所長（管理者）	1	1	特別養護老人ホーム施設長兼務
生活相談員	1	3	兼務 3
介護職員	3	4.7	うちパート常勤換算 1.7、兼務 3
看護職員	1	1	うちパート常勤換算 0.6（併設特養の協力体制あり）
管理栄養士	—	1	
機能訓練指導員	1	1	

(3)あいぜんの里在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所

	職　　名	基準	配置	付　　記
在宅介護支援センター	所長（管理者）	1	1	兼務
	ソーシャルワーカー	1	1	居宅管理者（主任介護支援専門員）兼務 居宅介護支援事業所兼務
	介護支援専門員	必要数	3	

居宅介護支援事業所	所長	—	1	兼務
	居宅管理者	1	1	主任介護支援専門員 支援センターソーシャルワーカー兼務
	介護支援専門員	必要数	3	支援センター兼務

11　職員の採用・退職等状況

採用者数	介護職員（正規職員）	1	退職者数	介護職員（正規職員）	2
	介護職員（夜勤専門パート）	1		介護職員（準職員）	1
	介護支援専門員（正規職員）	1		介護職員（パート）	1
	施設整備担当（パート）	1		介護補助（パート）	1
	施設宿直業務者（パート）	3		看護職員（パート）	2
	合計	7		合計	7

※法人全体職員数　（令和７年３月 31 日現在）　87 名

12　休暇等の取得状況

(1) 年次有給休暇

対象人数（退職者含む）	89 名
平均取得日数	13.6 日
取得率	80%

(2) 看護休暇

対象人数	9 名
平均付与日数	5.56 日
平均取得日数	4.52 日
取得率	81.3%

(3) 介護休暇

対象人数	13 名
平均付与日数	5.4 日
平均取得日数	2.7 日
取得率	50%

(4) 特別有給休暇（行事休暇）

対象人数	17 名
平均付与日数	4.12 日
平均取得日数	3.3 日
取得率	80.1%

(5) 育児短時間勤務者

5 名

(6) 育児休業取得者

1 名

13　外部研修派遣状況

研修名	実施月	開催者・場所	受講者職　種	受講者数	研修日数	研修内容
人事人材開発塾	4月　5月 6月	遠野職業訓練協会	施設長	1	6	組織と社員がともに成長するための人事とは、ほか
岩手県沿岸ブロック高齢者福祉協議会 施設長研修会	11月	岩手県沿岸ブロック高齢者福祉協議会（盛岡市:ニューカリーナ）	施設長	1	1	介護事業経営に関するトラブル事例、これからのまちづくり、ほか
ユニットケア管理者研修	6月～9月	ユニットケア推進センター（eラーニング＋オンライン）	施設長	1	eラーニング＋オンライン2日	入居者理解、ユニットケアの理念及び意義、ユニットケア運営計画の作成、ほか
ユニットケアリーダー研修	6月～9月	ユニットケア推進センター（eラーニング＋オンライン＋実地研修）	介護職員	ユニット型特養1	eラーニング＋オンライン2日＋実地研修4日	ユニットケアの理念と特徴、ユニットリーダーの役割、行動計画の作成、実地研修
認知症介護実践者研修	7月 8月 9月	いきいき岩手支援財団（盛岡勤労福祉会館）	介護職員	特養　1 ユニット型特養1	5	意思決定支援、ほか
認知症チームケア推進研修	5月～7月	認知症介護研究研修センター（オンデマンド）	介護職員	特養　3 ユニット型特養1 デイ　1	各自1	BPSDを予防・軽減するケアの基本的な考え方の理解、チームアプローチの重要性、ほか
			介護支援専門員	特養　1 居宅　1		
キャラバン・メイト養成研修	11月	いきいき岩手支援財団（盛岡市；アイーナ）	介護支援専門員	居宅　1	1	認知症サポーター養成講座の企画・運営方法、グループワーク
医療的ケア研修	10月～12月	岩手県社会福祉協議会	介護職員	ユニット特養1	24	実地研修（喀痰、胃ろう）
安全対策担当者養成研修	5月～8月	全国老人福祉施設協議会 （eラーニング）	介護職員	特養　1 ユニット特養1	各自の進度による	介護事故防止に向けたリスクマネジメント、身体的拘束と虐待防止の視点、ほか
リスクマネジメント研修（基礎編）	6月	岩手県社会福祉事業団 （オンライン）	介護職員	デイ　1	1	事故報告書の書き方、要因分析・対策、ほか
リスクマネジメント研修（実践編）	9月	岩手県社会福祉事業団（オンライン）	介護職員	デイ　1	1	福祉施設におけるリスクマネジメントのポイント、要因分析手法の実践、ほか
			生活相談員	特養　1		
			介護支援専門員	居宅　1		
高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修会	6月	岩手県沿岸ブロック高齢者福祉協議会（大槌町文化交流センター）	生活相談員	デイ　1 特養　1	1	高齢者虐待防止法、虐待の定義、具体例、グループワーク

研修名	実施月	開催者・場所	受講者職　種	受講者数	研修日数	研修内容
虐待防止研修（応用編）	9月	岩手県社会福祉事業団（オンライン）	介護職員 介護支援専門員	デイ 1 特養 1 居宅 1	1	「虐待を生まない組織づくり」講義・演習
人事考課者研修	5月	いきいき岩手支援財団（オンライン）	介護職員	特養 1 デイ 1	1	人事考課の仕組みとルール、ほか
介護支援専門員更新研修（法定研修）	8月～9月	いきいき岩手支援財団（eラーニング＋集合）	介護支援専門員	特養 1 居宅 1	eラーニング＋集合2日	ケアマネジメントの実践における理論、グループワーク
釜石市介護支援専門員等研修会	6月	釜石市地域包括支援センター（釜石PIT）	介護支援専門員	居宅 1	1	事例検討
大槌町介護支援専門員等研修会	10月	大槌町地域包括支援センター（大槌町文化交流センター）	介護支援専門員	居宅 1	1	事例検討
釜石市権利擁護研修会	11月	岩手県社会福祉士会沿岸ブロック（大槌町文化交流センター）	介護支援専門員	居宅 1	1	成年被後見人等の意思決定支援について
在宅医療・介護連携関係者研修会	2月	岩手県（オンライン）	介護支援専門員	居宅 1	1	地域包括ケアシステムの構築・在宅医療と介護連携の推進の重要性
社会福祉法人会計講座（中級）	7月～11月	全国社会福祉協議会（中央福祉学院）（通信＋スクーリング）	事務職員	1	通信＋スクーリング3日	会計担当者が押さえるべき社会福祉法人・施設を取り巻く状況、適切な会計処理の重要性、ほか
新任事務担当者研修会	4月	岩手県社会保険協会（釜石TETTO）	事務職員	1	1	各種助成金制度、社会保険手続き、ほか
釜石地区安全運転管理者講習会	8月	岩手県自家用自動車協会（育成センター）	副施設長	1	1	使用者の義務・罰則、安全運転管理者の役割ほか
自家用自動車整備管理者講習会	11月	岩手県自家用自動車協会（北上市；さくらホール）	事務職員	1	1	整備管理の実務と関係法令、ほか
労働災害事故防止研修会	8月	沿岸ブロック高齢者福祉協議会（大槌町文化交流センター）	事務職員	1	1	介護施設での労働災害事故防止について
デイサービスオンライン研修会	9月	（株）Rehab for JAPAN(オンライン)	機能訓練指導員	デイ 1	1	個別機能訓練加算算定要件と運営指導の注意点

14　資格取得支援制度による支援の適用状況

（「社会福祉法人清風会奨学金貸与・返済軽減・資格取得等の支援規程」第4章　資格取得支援制度）

対象資格等	支援期間等	適用者の職種	人数	備考
看護師免許	令和6年4月1日～3年間	介護職員（特養）	1	岩手県立宮古高等看護学院（3年課程）通学
介護支援専門員（更新）	令和6年8月～9月	介護支援専門員	居宅1 特養1	（再掲）※外部研修受講、更新料等全額負担

15　特別養護老人ホームあいぜん里の事業報告

(1) 特別養護老人ホームあいぜんの里（長期）の運営状況

◆利用状況

区分	入所（人）		退所（人）		月末在所者（人）		延べ利用者数（人）			利用率（%）		
月	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	差	6年度	5年度	差
R6/4	4	1	1	0	46	45	1,323	1,344	▲ 21	88.2	89.6	▲ 1.4
R6/5	3	1	0	2	49	44	1,470	1,407	63	94.8	90.8	4
R6/6	1	1	1	3	49	42	1,480	1,314	166	98.7	87.6	11.1
R6/7	2	7	1	1	50	48	1,541	1,381	160	99.4	89.1	10.3
R6/8	1	1	1	0	50	49	1,535	1,519	16	99.0	98.0	1
R6/9	0	0	1	3	49	46	1,472	1,426	46	98.1	95.1	3
R6/10	1	1	0	0	50	47	1,550	1,453	97	100.0	93.7	6.3
R6/11	0	1	1	2	49	46	1,481	1,396	85	98.7	93.1	5.6
R6/12	1	0	1	2	49	44	1,517	1,393	124	97.9	89.9	8
R7/1	2	2	2	0	49	46	1,532	1,378	154	98.8	88.9	9.9
R7/2	2	0	1	4	50	42	1,375	1,299	76	98.2	89.6	8.6
R7/3	0	3	1	2	49	43	1,548	1,347	201	99.9	86.9	13.0
計	17	18	11	19	589	542	17,824	16,657	1167	97.7	91.0	6.7

◆利用者の状況（令和7年3月31日現在）

男性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	2	0	1	0	1	0	4
介護度4	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6
介護度5	0	0	0	2	0	1	2	0	0	5
計	0	0	0	4	0	5	5	1	0	15
			平均年齢		86.5歳		平均介護度			4.0

女性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	0	1	4	0	1	0	6
介護度4	0	0	0	3	0	6	0	5	2	16
介護度5	0	0	1	1	1	4	3	1	1	12
計	0	0	1	4	2	14	3	7	3	34
			平均年齢		89.4歳		平均介護度			4.2

全体	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	2	1	5	0	2	0	10
介護度4	0	0	0	3	0	9	3	5	2	22
介護度5	0	0	1	3	1	5	5	1	1	17
計	0	0	1	8	2	19	8	8	3	49
最高齢 102歳		最年少	74歳	平均年齢		88.6歳		平均介護度		4.1

(2) 特別養護老人ホームあいぜんの里（短期）の運営状況

◆利用状況

区分	要介護（人）		要支援（人）		合計（人）		延べ利用者数（人）			利用率（%）		
月	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	差	6年度	5年度	差
R6/4	46	46	2	2	48	48	476	555	▲ 79	79.3	92.5	▲ 13.2
R6/5	43	46	2	3	45	49	471	557	▲ 86	76.0	89.8	▲13.8
R6/6	43	50	1	2	44	52	426	564	▲ 138	71.0	94.0	▲ 23.0
R6/7	45	52	1	1	46	53	461	546	▲ 85	74.4	88.1	▲ 13.7
R6/8	50	47	1	0	51	47	479	518	▲ 39	77.3	83.5	▲6.2
R6/9	53	53	3	2	56	55	525	529	▲ 4	87.5	88.2	▲ 0.7
R6/10	55	57	0	3	55	60	554	528	26	89.4	85.2	4.2
R6/11	31	53	0	1	31	54	425	549	▲ 124	70.8	91.5	▲ 20.7
R6/12	39	49	0	2	39	51	518	544	▲ 26	83.5	87.7	▲ 4.2
R7/1	49	51	1	2	50	53	548	542	6	88.4	87.4	1.0
R7/2	42	23	0	0	42	23	469	338	131	83.8	58.3	25.5
R7/3	48	45	1	2	49	47	531	506	25	85.6	81.6	4.0
計	544	572	12	20	556	592	5,883	6,276	▲ 393	80.6	85.7	▲ 5.1

◆利用者の状況（要介護度別利用者数）

男性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
要支援2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
介護度1	3	4	2	2	2	4	2	1	1	3	0	1
介護度2	6	7	7	6	4	5	4	1	2	3	2	4
介護度3	2	2	0	3	4	2	4	2	2	3	5	6
介護度4	3	3	3	1	3	3	4	2	3	4	4	4
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
計	15	17	13	13	14	16	14	7	9	14	11	16

女性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	7	4	5	6	6	6	7	2	4	6	6	8
介護度2	12	11	13	12	16	17	14	6	10	12	10	11
介護度3	7	8	6	7	5	7	6	8	9	9	10	7
介護度4	4	2	4	5	7	6	11	6	6	7	4	6
介護度5	2	2	3	3	3	3	3	2	1	1	1	1
計	33	28	31	33	37	40	41	24	30	36	31	33

全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	2	2	1	1	0	2	0	0	0	1	0	1
要支援2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
介護度1	10	8	7	8	8	10	9	3	5	9	6	9
介護度2	18	18	20	18	20	22	18	7	12	15	12	15
介護度3	9	10	6	10	9	9	10	10	11	12	15	13
介護度4	7	5	7	6	10	9	15	8	9	11	8	10
介護度5	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	1	1
計	48	45	44	46	51	56	55	31	39	50	42	49

◆利用者の状況（年齢・介護度別）　（令和7年3月31日現在）

全体	～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度2	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	6
介護度3	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
介護度4	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
介護度5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	0	1	2	2	5	3	2	0	15

最高齢	98歳	最年少	66歳	平均年齢	88.4歳	平均介護度	3.0

(3)特別養護老人ホームあいぜんの里　令和6年度実践内容実施報告書

清風会 達成目標	利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、 法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』
特養あいぜんの里実施目標	安定的で安心感のあるサービスを継続し地域、利用者様に選ばれる特養を作っていく Ⅰ 法人の目指す方向性を理解し連携することでチームとしての質が向上する。 Ⅱ 利用者様の想いが大切にされ、その方のあるべき姿を大切することで意欲的に生活できる。 Ⅲ 安定的で継続的なサービスを提供し地域に貢献する
重点項目	ⅰ チーム一人ひとりがあいぜんの職員としての自覚を持ち一丸となって利用者様が望む場を提供できるよう資質向上を目指します。 ⅱ 利用者本意の気持ちを大切にし、心から自己を表現できる環境を整え、その方らしく生活できるようにする。 ⅲ 安定的で継続的なサービスを提供できる体制の強化を図る

	実践内容	実践ﾘｰﾀﾞｰ	実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
ⅰ	1 教育・研修の場を持ち、振り返り、学習を実施する。 特養職員として自身の振り返り、新たな知識習得に努め、資質の向上、チームとしてのレベル向上を目指す ※ ≪特養研修会内容≫ 5月 倫理・法令遵守について 施設長 6月 口腔衛生（技術的助言）、口腔衛生（実地指導） 歯科衛生士 8月 医療的ケア（吸引、経管栄養の観察）看取り、精神的ケア 看護職員 9月 リスクマネジメント 副主任 10月 身体拘束・虐待防止について 主任 2月 感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止について 主任 3月 認知症 副主任	主任 副主任	※ 感染症発生の状況から4月、7月、11月、12月、1月は実施できなかったが、予定月から他の月に変更して実施する事が出来た。 各種委員会、施設長、医務、歯科衛生士に講師を依頼、特養会議前に研修会を開催。	各職員で講師を行ない、各々のケアに関しての振り返りや意識を高めることができた。	研修の振り返り方、参加出来ない職員に向けての伝達について、より細やかにその勤務にあわせての開催時間、伝達方法の工夫が課題となった。	・講師を経験したことがない職員にも講師を担当してもらう。 ・参加した職員が参加できなかった職員に説明を行う機会を設ける（説明する側、聞く側ともに内容理解を深めることができる）。 ・取り組みは職員全体で行なっている事を伝え、一人ひとりの意識づけ、責任感、チーム力の向上を図る。
	2 ショート会議の活用 ※利用者様の情報共有、家庭・利用者様の意向確認、ケアの検討、統一を行ない、安定的で継続的なサービスを提供する。	主任 副主任 相談員	会議の日程調整がとれず、開催が少なかった。	利用者・その家族・他事業所の考え・意向を知る機会となり、自分達のケアの振り返り、対策を検討できた。	会議開催の日程調整について、事前にショート送迎や実態調査等のスケジュール確認が必要である。	前月の時点で勤務、スケジュールを確認して開催日程を設定する。
	3 ケアの検討チームを立ち上げ、ケアの改善を行なっていく ※特養会議でケアに対する振り返り、取り組みを協議、周知し、医務・相談員と共に実施していく。 ※『排泄・皮膚状態検討チーム』『移動・移乗取り組みチーム』『入浴検討チーム』『食事検討チーム』を立ち上げ、ケアの改善、職員の標準化、コストの改善を図る。		移乗・移動検討チームを作成し、研修の計画を立てていたが実行までには至らず、今年度は活動できなかった。 排泄・皮膚状態検討チームでパットの使用状況を確認し、利用者毎のパットの種類、補充の仕方について見直しを都度行った。	利用者の生活の為にチームで話し合い、皆で情報交換をしながら進める事ができた。 自分達の中から必要な検討チームを考え、次に繋げる事ができた。 取り組みの改善点や課題を介護職員で考える機会になった。	検討チームからの提案が職員で周知できていない事があった。 会議以外でも課題を相談できる環境があればより、ケアの改善を行なえた。 チームを決める際に全体で取り組みやすいよう雇用形態に関わらずメンバーに入れた方が良かった。	取り組みがその場限りにならないよう取り組んだ事を振り返り、現状の確認をする。 現状に必要な検討チームを自分達で考え次年度の取り組みとして行なって行く。 チームを決める際に全体で取り組みやすいよう雇用形態に関わらないメンバー構成を行う。
ⅱ	1 利用者の意向調査の実施。 ※年2回の意向調査を実施し利用者の生活に意向を反映する	主任 副主任	年2回（春:5月、秋:11月）に実施　各担当介護士より聞き取りして意向調査できた。	利用者への理解を深める事が出来た。	職員の情報収集能力に差がある。 昨年より面会の機会は多かったが、家族からの情報収集が乏しく、また意思表示が難しい利用者への対応が曖昧だった。	意向調査の意味、必要性、実施方法を繰り返し職員へ説明する。 ケアの各場面での言葉、意思表示を大切に受けとめ対応する。
	2 利用者様の意見が反映された行事を開催する。 ※利用者様との関わりを増やす事で利用者様の疑問、意見、意向を聞く機会を増やす ・家族会(6/23)・夏祭り(7/5)・納涼(8/9) ・長寿を祝う会(9/15)・忘年会(12/16)	行事担当介護職員	行事は計画の予定どおり実施できた。 行事開催時は参加の介助を行ないながら利用者個々の意見、意向等聞き取り対応することができた。	家族会、納涼大会、長寿を祝う会では利用者家族を招く事ができ、利用者と家族の交流の場がもてた。 職員が取り組む余興を各利用者が楽しまれていた。	例年通りの内容ではあるが、係の職員が変わる為、うまく前年の反省等を次に活かすことが充分できなかった。	行事後のアンケート、反省の内容を確認し、行事の内容をより利用者様に楽しんで頂けるよう情報を更新して、記録し保管する。
	3 日々の暮らしを楽しんで頂けるようなイベントを開催する。 ※利用者参加型のお楽しみ会を毎月何らかの形で計画・提供する。 お花見会　4/16 端午の節句　手作りおやつ作り　5/18 中学生（大平中学校）との交流会 9/30	行事担当介護職員	・意向調査から利用者様の要望に近づけた物を企画する。 ・利用者様に楽しんで頂けるよう毎月のイベントを行う。	おやつ等、利用者自身で選択して楽しみをもって食事をして喜ばれる姿がみられた。 施設だけでなく、地域とのつながり、他の世代との関わりを感じる活動を行なう事ができた。	行事の他に日常で出来る時間が作れれば、散歩する等日頃の生活の中に楽しみが必要という声があった。 ※秋ドライブを11月に実施予定であったがコロナ感染が発生した為実施できなかった。	行事以外に日頃の空いた時間に施設周辺の散歩、中庭の花見等の機会を作る。 行事内容を2カ月前の特養会議にてどのような事を行なうかを話し合い、利用者、職員の声がより反映されたものを実施していく。

	中学生（唐丹中学校）との交流会 10/9 音楽隊コンサート　10/18 カラオケ懇談会　11/10 小正月　水木団子作り、飾り　1/12 映画観賞会　2/19 ひな祭り会　3/6					
iii	利用率、収入の安定化を図る ※利用率99.2%以上を目標にする。入所待機者名簿の整備し、速やかな選定と入所に繋げる。	相談員	≪利用率≫ ・4月　88.2%　・10月　100.0% ・5月　94.8%　・11月　98.7% ・6月　98.7%　・12月　97.9% ・7月　99.4%　・1月　98.8% ・8月　99.0%　・2月　98.2% ・9月　98.1%　・3月　99.9%	5年度の反省から、入所待機者名簿の整備、次回の入所者の選定を相談員で予め入所判定会議を行ない、準備することができたので、空床の期間を大幅に短縮でき、満床の状況に改善できた。		

(4) 特別養護老人ホームあいぜんの里　行事・活動実施状況

活動・行事名	開催年月日	結果等
オープンカフェ（第3水曜:ケーキバイキング）	毎週水曜14時～	食堂ホールにて、オヤツに加えて好みの飲み物（コーヒー、紅茶、ココア、昆布茶等）を提供するとともに、憩いの時間の提供となった。（※第3水曜日は、数種類のケーキの中から個々に選択。）
お花クラブ	毎月第3木曜14時～	参加利用者が活け花を実施。季節の花材を利用し、各々考えながら花を活けた。利用者6名でクラブ活動を実施した。
お花見会	令和6年4月14日	中庭に植樹した枝垂れ桜が満開になる時期に合わせ、青空の下で観賞した。他、出店風にテントを用意、飲食（たこ焼き、おでん、流し焼き、炭酸水）も楽しんだ。
手作りおやつ（鯉焼き）	令6年5月5日	端午の節句に合わせて『鯉焼き』を職員とともに作った。中身は粒あん・こしあんから個別に選択。またジュースも個々に選択した好みの物を提供し、調理と飲食双方を楽しんでいた。
大平中学校ソーラン舞踊慰問（大平中学校福祉学習）	令和6年5月21日	正面玄関前にて、大平中学校3年生がソーラン節の演舞を披露。生徒達のソーラン節を楽しんだ。
家族懇談会	令和6年6月23日	当年度事業の説明のほか、利用者、利用者家族、職員が食堂ホールにて談話しながら七夕の短冊を書き、飾りつけを行うなど三者交流の機会となった。
夏まつり	令和6年7月5日	大平中学校2年生の生徒、職員が運営する模擬店やゲームコーナーで、利用者、生徒、職員の三者が楽しみながら交流を行なった。
上平田NT町内会合同納涼大会	令和6年8月9日	敷地内駐車場にて上平田ニュータウン町内会と合同で納涼大会を開催した。多くの地域住民も来訪し、桜舞太鼓等外部団体の余興、模擬店を地域住民と共に楽しんだ。
長寿を祝う会	令和6年9月15日	敬老の時期にあわせて入所利用者に敬意を表し、敬老の式典を開催。今年度の祝い年、百歳以上の該当者等の祝い、記念品贈呈や職員による余興披露、昼食には祝い膳が提供された。
秋の彼岸供養	令和6年9月25日	施設で逝去された利用者の供養を秋彼岸の時期に合わせ、仙寿院の住職を迎えて供養を行なった。住職の読経、法話の後に参加した利用者が順番に焼香したが、遺影に向かって思いを馳せていた利用者もおり、必要な催しであることがわかった。
つながるカフェ（大平中学校福祉学習）	令和6年9月30日	大平中学校1年生の誘導でカフェ、ケーキバイキングを開催。食後は食堂ホールにて舞踊と合唱披露があり、利用者は表情を緩め喜んでいた。

活動・行事名	開催月日	結果等
音楽隊慰問	令和6年10月7日	被災地復興支援活動をしている『すすきだ音楽隊』コンサート（釜石地区法人会の紹介）が地域交流ホールで行われ、利用者は音楽隊の楽器演奏等を楽しんだ。
唐丹中学校虎舞舞踊慰問（唐丹中学校福祉学習）	令和6年10月9日	地域交流ホールにて唐丹中学校生徒全員による大石虎舞・合唱・校歌が披露され、同郷の利用者も懐かしみながら各披露を楽しんでいた。
カラオケ懇談会、意向調査	令和6年11月10日	予定していたバスハイクが感染症の予防のため中止となった。代替の活動として利用者の要望からカラオケ大会を開催した。利用者、職員のカラオケ、お菓子等の飲食を楽しんだ。また、会の合間には職員から利用者の意向調査を実施。施設での生活に関する聞き取りを行なった。
忘年会	令和6年12月16日	食堂ホールにて令和６年忘年会を開催。事務・特養職員の余興、カラオケや菓子盛り合わせ、飲み物等を楽しんだ。
新年会	令和7年1月1日	食堂ホールにて令和7年新年会を開催。みんなで新年の挨拶を行ない、今年を迎えての抱負を各用紙に記入し、最後に職員からの歌唱を楽しまれた。
水木団子作り、飾りつけ	令和7年1月12日	小正月の時期に合わせて水木団子作り、飾りつけを行なった。団子を丸める作業、水木に飾り付ける作業等を利用者・職員と一緒に取り組んだ。
映画観賞会	令和7年2月19日	食堂ホールにて、ミーティングボードを使用して映画「幸せの黄色いハンカチ」の鑑賞会を行なった。
おひなさま会	令和7年3月2日	桃の節句に因んで餅風ムース、甘酒を提供。餅風ムースは各トッピングを利用者に選択してもらい、好みの味付けで食べていただいた。（誤嚥の危険が低く口どけの良い餅風ムースを使用した。）

(5)　特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修会、会議開催状況

◆　特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修会

研修内容	開催年月日	講師
倫理・法令遵守について（コンプライアンス研修）	令6年5月13日	・講義　施設長
口腔ケアについて	令6年6月26日	・講義　歯科衛生士
医療的ケア・ターミナルケア・認知症ケアについて	令6年8月22日	・講義　看護職員
リスクマネジメント・事故報告書の書き方	令6年9月15日	・講義　副主任介護職員
身体拘束廃止について	令6年10月25日	・講義　主任介護職員
感染症及び食中毒の予防、蔓延の防止について	令7年2月21日	・講義　主任介護職員
認知症ケアについて	令7年3月28日	・講義　副主任介護職員

◆　特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内会議

会議名	開催年月日	主な内容
特養リーダー会議	令和6年4月7日	職員勤務体制、事業計画執行確認、次月会議・研修内容・活動予定の確認ほか
	令和6年5月7日	
	令和6年6月10日	
	令和6年8月28日	
	令和6年9月9日	
特養会議	令和6年4月28日	利用者処遇、事故・安全対策の検討、次月予定、円滑なケアを図るための協議
	令和6年5月26日	
	令和6年6月16日	
	令和6年7月28日	
	令和6年8月18日	
	令和6年9月27日	
	令和6年10月21日	
	令和6年11月22日	
	令和6年12月27日	
	令和7年1月24日	
	令和7年2月21日	
	令和7年3月28日	

16　ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の事業報告

(1) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の運営状況

◆利用状況

区分	入所（人）		退所（人）		月末在所者（人）		延べ利用者数（人）			利用率（%）		
月	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	差	6年度	5年度	差
R6/4	3	1	1	0	20	20	575	580	▲ 5	95.8	96.7	▲ 0.9
R6/5	2	0	2	0	20	20	584	620	▲ 36	94.2	100.0	▲ 5.8
R6/6	0	1	2	1	18	20	594	578	16	99.0	96.3	2.7
R6/7	1	0	0	1	19	19	574	591	▲ 17	92.6	95.3	▲ 2.7
R6/8	1	1	0	3	20	17	620	541	79	100.0	87.3	12.7
R6/9	0	2	1	0	19	19	600	557	43	100.0	92.8	7.2
R6/10	1	1	0	0	20	20	620	616	4	100.0	99.4	0.6
R6/11	0	1	2	2	18	19	591	590	1	98.5	98.3	0.2
R6/12	1	0	0	0	19	19	565	589	▲ 24	91.1	95.0	▲ 3.9
R7/1	0	0	2	2	17	17	575	535	40	92.7	86.3	6.4
R7/2	2	0	0	0	19	17	510	493	17	91.1	85.0	6.1
R7/3	2	2	1	1	20	18	570	549	21	91.9	88.5	3.4
計	13	9	11	10	229	225	6,978	6,839	139	95.6	93.4	2.2

◆利用者の状況（令和7年3月31日現在）

男性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
介護度4	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	0	0	2	1	0	0	0	4
			平均年齢		77.3歳		平均介護度			3.9

女性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	1	0	0	2	1	0	1	0	0	5
介護度4	0	1	0	0	0	2	3	1	1	8
介護度5	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
計	1	1	1	2	2	2	5	1	1	16
			平均年齢		85.2歳		平均介護度			4.0

全体	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	1	0	0	2	2	0	1	0	0	6
介護度4	0	2	0	0	1	3	3	1	1	11
介護度5	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
計	1	2	1	2	4	3	5	1	1	20
最高齢 100歳	最年少	59歳	平均年齢		84.3歳		平均介護度			4.0

(2)ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里 令和6年度実践内容実施報告書

清風会 達成目標	利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、 法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』		
ユニット型特養 あいぜんの里 実施目標	Ⅰ 法人が目指す方向性を理解し行動することでチーム機能が向上する。 Ⅱ 利用者一人ひとりの想いが大切にされ生活の満足度が向上できる。 Ⅲ 安定的で継続的なサービスを提供し地域に貢献する。	重点項目	i 利用者様が求めるサービスの提供ができるようチームの資質向上を目指す。 ii 利用者様の個別性を大切にし、心から喜怒哀楽を表現できる環境を整えることによって利用者様らしい生活ができる。 iii 安定的で継続的なサービスを提供できる体制の強化を図る。

	実践計画	実践ﾘｰﾀﾞｰ	実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
i	1) ミニケア会議の定着化。 利用者様の課題把握、ケアの改善策、定期的なケアの振り返り。 ＊毎週日曜日開催	主任 副主任 介護職員	達成率100% ・毎週日曜日に定期開催。ミニケア会議用紙に記入しboxにて回収。 ・些細な事、困っていることを話し合いより良いケアが出来た。 ・日曜日に限らず検討内容が明らかになっている日にも話し合いが出来た。 ・主任、副主任不在時でも話し合いが出来た。	・職員間での共通ケア事項としての意識付けには繋がった。 ・統一したケアに繋げれた。 ・評価、見直しのモニタリングの定着化ができた。 ・利用者の課題把握ができた。	・共通事項が細分化しており、職員一人ひとりが全共通事項を把握できているか。 ・ケアの統一の継続性。 ・利用者にとって何が必要なのか考える。	・職員間で共通する課題と個人単位で行えるケアを見極め、共通事項と集約する。 ・決定事項の定期的な振り返り。 ・利用者の課題の深掘り。 ・ミニケア会議の意味の把握。
	2) フロア会議の定着化。 課題を予め掲示することで、利用者担当、各委員会、各行事からの報告と意見交換のしやすい場とする。 ＊毎月開催	主任 副主任	達成率80% ・毎月一度の開催。 ・コロナ感染症や体調不良などで職員不足時には開催できない月もあった。 ・事前に課題把握が掲げており、各委員会や各行事の報告など、話し合いや確認ができた。	・報告や話し合いができ、また利用者の気付きの足りないことも話し合う事ができた。 ・業務改善に関することも意見が聞かれた。	・ミニケア会議でも、フロア会議での課題で話し合う事もあり、会議自体が重複している。 ・協議内容を毎月、前もって表示する。	・ミニケア会議とフロア会議の内容が重複している事もあるので会議の規模を縮小化する必要性がある。 ・職員から協議したい事、報告したい事を月初めには聞き取りし、それをフロア会議で話し合う。
	3) ユニットケアを基本とした認知症対応の実施。 ユニットケア、認知症ケアの勉強会を開催し、個別ケアの統一性・継続性の実施と振り返り。	主任 副主任	達成率70% ・ユニットケアの基本、認知症ケアの勉強会は、全職員に対し開催できた。 ・起床、就寝、食事、排泄の話し合いができた。	・起床、就寝、食事はその利用者に合った時間で対応できた。 ・認知症の理解度として基本的な部分は理解できている。 ・ユニットケアの部分としては、ユニットケアを理解しようとする意識付けはできてる。 ・利用者と会話することで、その人の想いを吸い取ることができた。	・認知症の基本は理解できていても、応用としての実践が活かされていない。認知症を患っている方々への個人としてどのようなケアを目指すべきかが見えておらず、重要な部分でのケアの統一ができていない。 ・入浴の部分は職員本位になってしまった。 ・職員不足時の業務のあり方。	・利用者のアセスメントを強化し、個別ケアの取り組み方を再検討する。 ・認知症ケアは基本を重点に応用として個人に合わせたケアの実践が必要であり意識付けを強化する。 ・ユニットリーダー研修へ参加しユニットケアの基本を学ぶことで意識強化する必要性あり。
ii	1) 利用者意向調査の実施。 年に2回の意向調査を実施。	主任 副主任 介護職員	達成率100% ・年2回、4月と10月に実施。それぞれの担当が空いている時間を使い調査する。利用者のコミュニケーション能力も年々低くなっており、聞き取り調査ができる利用者も減少してきている。	・利用者の意向を聞き、取り組める事項については取り組んだ。 ・利用者の想いを一つでも叶えることが、担当職員実施によってできた。 ・新規利用者に関しては4月、10月以外にも調査できた。	・デマンド（こうしたい希望）の部分は聞けるも、そこからニーズへの経路を歩き出せていない。 ・反映できた利用者もいたが、できなかった利用者もいた。 ・意思疎通が困難な利用者の意向も聞き取りと実施。	・ニーズにより迫る聞き取り内容にする。 ・何のための聞き取りなのか意向調査の意味を理解する。 ・大きいことを反映せず、小さい想いを一つでも叶える。 ・意向の見える化で表示し、職員への意識付けする。
	2) 利用者様の意見が反映された行事を開催する。 意向調査の内容を活用し、その利用者様に合った楽しみを提供する。	主任 副主任 介護職員	達成率90% ・コロナ感染症や職員の体調不良により開催できなかった月もあったが、限られた配置の中で年間行事担当を中心に小規模であっても開催できた。 ・年度初めに1年分の行事を決め実施できた。	・集団で行事を開催することで画一的な流れから生活のメリハリができ、利用者も楽しめていた。 ・利用者の想いを吸い上げ行事にできた。	・利用者の中には集団での行事開催に拒否的な方もおり、全員参加までは至らなかった。 ・利用者一人ひとりに合った、要望を叶えたい。 ・意思疎通が困難な利用者の想い、楽しみへの対応方法。	・その人人生をどう生きたいか、ニーズに迫る意見を調査する仕方。 ・要望された内容をまたさらに細分化し、その中から出来る事は何か考え実践する。 ・利用者との時間作り、話す場の設け方を、一人ひとり意識付けをし、自ら傾聴できるようにする。
	3) 利用者懇談会の再構築 ケーキバイキング時に利用者様との触れ合いの時間を設ける。	主任 副主任	達成率80% ・コロナ感染症や職員の体調不良により開催できなかった月もあった。	・小行事と合わせて開催する事もあったが、ケアの提供はできていて、利用者からも満足の声が聞かれた。成果は実感できた。	・利用者と一緒に席について会話するという機会が不足だった。	・職員も、自身で食べ物や飲み物を準備し、共にその時間を利用者と共有するという意識付けが必要。

			・毎月のケーキバイキングやオープンカフェは開催できた。 ・ケーキバイキングやオープンカフェ以外の時間にも、利用者との会話、関りを持てた。		・懇談会の開催の仕方	・毎週、ケーキバイキングやオープンカフェを、1丁目、2丁目の利用者を集合できる時間を設ける。
㈢	1）利用率、収入の安定化を図る 利用率、99.2%以上を目標にする。 入所待機者名簿の整備し、速やかな選定と入所に繋げる。	生活相談員	≪利用率≫ ・4月　95.8%　・1月　92.7% ・5月　94.2%　・2月　91.1% ・6月　99.0%　・3月　91.9% ・7月　92.6% ・8月　100.0% ・9月　100.0% ・10月　100.0% ・11月　98.5% ・12月　91.1%	前年度の反省から、入所待機者名簿の整備、次回の入所者の選定を相談員で予め入所判定会議を行ない、準備することができた。空床の期間を大幅に短縮でき、満床の状況に改善できた。		

(3) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里　行事・活動状況

活動・行事名	開催年月日	内容
オープンカフェ（第1日曜:ケーキバイキング）	毎週日曜14時～	リビングにて、オヤツに加えて好みの飲み物（コーヒー、紅茶、ココア、昆布茶等）を提供するとともに、憩いの時間の提供となった。（※第1日曜日は、数種類のケーキの中から個々に選択。）
お花見バスハイク	令和6年4月14日 10時～、14時～	桜開花に合わせて外出する。午前中は唐丹本郷の桜並木・海、仙人峠を経由し市内をドライブした。午後は小川町、甲子町の河川敷等をドライブし桜を楽しんだ。
手作りおやつ（団子、お汁粉）	令和6年5月5日	１丁目、２丁目の利用者皆で集まり、端午の節句に合わせて『団子、お汁粉』を職員とともに作った。その他コーヒー、抹茶等個々に選択した飲み物とケーキ、おやつを食べながら談笑の時間を過ごした。
野菜と花の苗植え	令和6年5月6日	ユニット玄関前にてプランターを利用して野菜（ナス、枝豆、トマト、きゅうり等）、花（ビオラ、スカーレット等）の苗植えを行なった。屋外での活動だった為、皆さん心地よさそうに作業を行なっていた。
大平中学校生によるソーラン舞踊慰問（大平中学校福祉学習）	令和6年5月21日	正面玄関前にて、大平中学校3年生がソーラン節の演舞を披露。生徒達の動きや音楽に合わせて「ソーラン、ソーラン…」と応援し、涙ぐんでいる利用者もおられた。
家族懇談会	令和6年6月23日	当年度事業の説明後、ユニット・フロアの紹介並びに職員紹介を行なった。その後利用者は、各々の居室にて家族とふれあいの時間を楽しんだ。
夏まつり	令和6年7月5日	大平中学校2年生の生徒、職員が運営する模擬店やゲームコーナーで、利用者、生徒、職員の三者が楽しみながら交流を行なった。皆さん良い表情でゲームやかき氷、綿あめ等の模擬店を利用していた。
七夕会	令和7年7月7日	七夕の日に合わせてケーキやコーヒーを召し上がり、写真撮影を行なった。
上平田NT町内会合同納涼大会	令和6年8月9日	敷地内駐車場にて上平田ニュータウン町内会と合同で納涼大会を開催した。多くの地域住民も来訪し、桜舞太鼓等外部の余興、模擬店を地域住民と共に楽しんだ。
長寿を祝う会	令和6年9月15日	敬老の時期にあわせて入所利用者に敬意を表し、敬老の式典を開催。今年度の祝い年、百歳以上の該当者等の祝い、記念品贈呈や職員による余興披露、昼食には祝い膳が提供された。

活動・行事名	開催年月日	内容
秋の彼岸供養	令和6年9月25日	施設で逝去された利用者の供養を秋彼岸の時期に合わせ、仙寿院の住職を迎えて供養を行なった。住職の読経、法話の後に参加した利用者が順番に焼香した。
つながるカフェ（大平中学校福祉学習）	令和6年9月30日	大平中学校1年生の誘導でカフェ、ケーキバイキングを開催。食後は食堂ホールにて舞踊と合唱披露があり、表情を緩め喜んでいた。
音楽隊慰問	令和6年10月7日	被災地復興支援活動をしている『すすきだ音楽隊』コンサート（釜石地区法人会の紹介）が地域交流ホールで行われ、利用者は音楽隊の楽器演奏等を楽しんでいた。
唐丹中学校虎舞舞踊慰問（唐丹中学校福祉学習）	令和6年10月9日	地域交流ホールにて唐丹中学校生徒全員による大石虎舞・合唱・校歌が披露され、同郷の利用者も懐かしみながら各披露を楽しんでいた。
秋の味覚フェア	令和6年10月13日	季節にあわせた旬の食材を使って、炊き込みご飯、芋の子汁、サンマ焼き、煮リンゴを作り利用者へ提供。皆さんおかわりする等食の楽しみを味わっていた。
干し柿作り	令和6年11月11日	干し柿作りを実施。利用者には作り方を指導してもらい、皮むき、吊るし方は職員で行なった。
忘年会	令和6年12月22日	１丁目リビングに集合して忘年会を開催。各種の食事をしながら、職員の余興を楽しんでいた。
新年会	令和7年1月1日	食堂ホールにて令和7年新年会を開催。みんなで新年の挨拶を行ない、甘酒を飲みながら準備した絵馬に各々の抱負、願い事（「元気で過ごしたい」、「家に帰りたい」等）を書いた。
100歳を祝う会（あすなろ１丁目利用者）	令和7年2月4日	あいぜんの里地域交流ホールにおいて100歳を迎えた利用者のお祝いの会を開催。ご家族、釜石市長、法人理事長が参席のもと、祝辞や記念品贈呈等が行なわれた。

(4) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修、会議開催状況

◆ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修

研修内容	開催年月日	講師
口腔ケア	令和6年5月23日	・講義、実技　歯科衛生士
感染症予防と食中毒	令和6年7月28日	・講義　介護職員
医療的ケア	令和6年8月27日	・講義　看護職員
感染症発生時における業務継続計画（BCP）	令和7年2月16日	・講義　主任介護職員
倫理・法令遵守	令和7年2月16日	・講義　主任介護職員
高齢者の身体拘束、虐待の防止	令和7年2月16日	・講義　主任介護職員
看取り　ターミナルケア	令和7年2月19日	・講義　看護職員
口腔ケア	令和7年3月19日	・講義　歯科衛生士
リスクマネジメント	令和7年3月20日	・講義　副主任介護職員
認知症	令和7年3月24日	・講義　主任介護職員

◆ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内会議

会議名	開催年月日	主な内容
ユニットリーダー会議	令和6年4月7日	職員勤務体制、事業計画執行確認、次月予定の確認ほか
	令和6年5月7日	
	令和6年6月4日	
	令和6年7月3日	
	令和6年7月7日（臨時）	
	令和6年8月3日	
	令和6年9月3日	
	令和6年10月7日	
	令和6年12月4日	
	令和7年1月8日	
	令和7年2月4日	
	令和7年3月4日	
（あすなろ棟）ユニットフロア会議	令和6年4月23日	利用者処遇、事故・安全対策の検討、次月予定、円滑なケアを図るための協議ほか
	令和6年5月21日	
	令和6年6月21日	
	令和6年7月23日	
	令和6年8月28日	
	令和6年9月24日	
	令和6年11月2日	
	令和6年12月27日	
	令和7年2月25日	
	令和7年3月21日	

会議名	開催月日	主な内容
ミニケア会議	令和6年4月23日	利用者処遇・対応策の検討
	令和6年5月19日	
	令和6年5月26日	
	令和6年6月3日	
	令和6年6月9日	
	令和6年6月18日	
	令和6年7月3日	
	令和6年7月21日	
	令和6年8月25日	
	令和6年9月15日	
	令和6年10月16日	
	令和6年11月16日	
	令和6年12月8日	
	令和7年2月7日	
	令和7年2月25日	
	令和7年3月4日	

17　あいぜんの里デイサービスセンターの事業報告

(1)　あいぜんの里デイサービスセンターの運営状況

◆利用状況

区分	通所介護(人)		総合事業(人)		延べ利用者数(人)			営業日数		利用率(%)		
月	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	差	6年度	5年度	6年度	5年度	差
R6/4	61	61	20	23	524	535	▲ 11	26	25	80.6	85.6	▲ 5.0
R6/5	61	64	18	24	536	540	▲ 4	27	27	79.4	80.0	▲ 0.6
R6/6	59	63	21	23	524	522	2	25	26	83.8	80.3	3.5
R6/7	59	63	21	21	572	540	32	27	27	84.7	80.0	4.7
R6/8	59	60	20	21	497	496	1	26	27	76.4	73.4	3.0
R6/9	56	61	21	22	490	530	▲ 40	25	26	78.4	81.5	▲ 3.1
R6/10	61	61	21	21	528	523	5	27	26	78.2	80.4	▲ 2.2
R6/11	54	64	25	19	226	521	▲ 295	17	26	53.1	80.1	▲ 27.0
R6/12	51	62	22	19	403	501	▲ 98	25	26	64.4	77.0	▲ 12.6
R7/1	54	58	22	18	410	456	▲ 46	25	24	65.6	76.0	▲ 10.4
R7/2	53	54	24	17	448	194	254	24	12	74.6	64.6	10.0
R7/3	51	58	27	19	482	488	▲ 6	26	26	74.1	75.0	▲ 0.9
計	679	729	262	247	5,640	5,846	▲ 206	300	298	75.2	78.5	▲ 3.3

◆利用者の状況（令和7年3月31日現在）

男性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
事業対象	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
要支援1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
要支援2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
介護1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
介護2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
介護3	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
介護4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	4	2	4	3	1	0	14
					平均年齢		86.8歳	平均介護度		2.4

女性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
事業対象	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
要支援1	0	0	0	0	3	6	4	1	0	14
要支援2	0	0	2	2	1	4	5	0	0	14
介護1	0	0	1	1	5	9	5	2	0	23
介護2	0	1	0	2	1	2	0	2	0	8
介護3	0	0	0	3	1	6	2	2	0	14
介護4	0	0	0	0	5	4	0	1	0	10
介護5	0	0	1	0	0	0	0	3	0	4
計	0	1	4	8	16	32	17	12	0	90
					平均年齢		86.7歳	平均介護度		2.4

全体	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
事業対象	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4
要支援1	0	0	0	0	4	7	4	1	0	16
要支援2	0	0	2	2	1	5	5	0	0	15
介護1	0	0	1	1	5	10	6	3	0	26
介護2	0	1	0	3	1	2	1	2	0	10
介護3	0	0	0	4	2	7	2	2	0	17
介護4	0	0	0	2	5	4	0	1	0	12
介護5	0	0	1	0	0	0	0	3	0	4
計	0	1	4	12	18	36	20	13	0	104
最高齢	99歳	最年少		66歳	平均年齢		86.7歳	平均介護度		2.4

(2) あいぜんの里デイサービスセンター　令和6年度実践内容実施報告書

清風会達成目標	利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』
あいぜんの里デイサービス実施目標	利用者様、ご家族、地域の方々から選ばれ信頼される「元気が出るデイサービス」を作って行きます。 ① 個別機能訓練、レクリエーション、音楽療法、トゴール温泉など、様々な活動を選択できます。 ②本人が持つ力や意欲が引き出せるよう様々なニーズを提供します。
重点項目	i 利用したくなる活気のある明るいデイサービスを作る。 ii チーム機能向上と共に個々のサービス技術が向上する。

	実践計画	実践リーダー	実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
i	1 利用者満足度を高める ・ 活動ごとに聞き取り等行い、評価・検討し柔軟な活動を行う。 ・ 毎月実施	生活相談員	・行事、活動後に聞き取り、感想や反応の確認を実施した→結果良好。 ・活動についての意見が出た事もあり、利用者からの意見の吸い上げも出来た。 ・利用者ニーズやレベルに合わせた機能訓練・活動の提供が出来た。 ・満足度アンケートの実施 ※出た意見、検討事項は、ミーティング・定例会議で周知・検討できた。	・連絡帳を通して、本人、家族からコメント頂き反応が知れる場面あり。 ・活動中の参加の様子、表情や、会話から、想いを吸い上げる事も出来、次の活動へ活かせるものとなってきている。 ・活動内容についての意見もあり、意見しやすい雰囲気が出てきたのではないか？　・アンケートで利用者、家族の意見を聞くことが出来た。	・アンケート内容の再検討→デイを利用して変わった事（良いこと・改善点）を知れる内容も加える	・ゆったりと懇談できる時間を作る。
	2 活動の選択 ・ 残存機能を生かし、ニーズに合わせた活動で心身の活性化に努める。 ・ 毎月実施	介護職員	選択活動については入浴待ちの時間や趣味活動の時間で実施した。 ・機能訓練（グループ・個人） ・塗り絵 ・工作 ・ゲーム ・コミニュケーション ・動画鑑賞	・塗り絵、脳トレ、工作、運動、見たいテレビ、動画など自分で選べるようにした。個々に合う内容を提供出来てきている。 ・余暇の過ごし方も選択できている。 ・その日の状況・身体状況等で内容を変更したり作業速度を調整したり皆で一緒に進めたり、寄り添った活動を実施出来ている。　・職員も一緒になって活動、ゲームをする事で、コミュニケーションの時間となった。 ・活動後の片付け等、自主的に手伝ってくれたりと、意欲的であった。 ・意欲向上が心身の活性化につながっている。　・機能訓練も自主的に行なう場面もあり楽しみながら行っている様子がうかがえた。	・午前午後と、職員も一緒に行える時間が減っている。	・少ない職員でも出来る活動内容を検討する
	3 季節感あふれる心地よい環境作り ・ 一年を通して季節に合わせた飾りつけを共同で行う ・ 毎月実施	介護職員	・月ごと、担当による企画を実施している。	・壁面や空間掲示に季節の移り変わりを感じられる工作や活動が出来た。 ・季節感あふれる掲示物が、会話のきっかけにつながったり季節感を味わうことにつながった。 ・利用者と職員の協働やレベルにあわせた作業もできた。 ・作業工程を分けることで、出来上がった時の達成感にもつながった。	・職員の負担にならない計画の作成	・年間計画は予算も考え立案し、早めの準備を行う。 ・人員の関係で担当振り分けが難しい為、協力体制を整える。
	4 在宅生活継続のための心身機能の維持向上・生活機能向上 ・ 個別・集団訓練（マシン、体操、筋力トレーニング、歩行、日常生活動作）アクティビティ ・ 毎日実施	機能訓練指導員	・個別機能訓練計画書を作成している。個別、集団体操、マシントレーニングにて機能訓練を実施する。 ・がんばりま表を掲示。目に見える評価を行っている。 ・チームミーティングを行い、計画的な機能訓練プログラムを行っている。	・向上がみられた。（機能、歩行、参加意欲、自主性、積極性） ・在宅時でも取り組んでいるとの報告あり。　・機能訓練ミーティングが充実しており、プログラムが確立している。。 ・余談をしながら楽しく行えている。 ・YouTubeを使用するなど、臨機応変に行なえている。 ・午後の活動も機能訓練を意識しながら行えた。 ・筋力がアップし、心身機能の向上が図られ転倒が減っている。 ・拒否があっても時間をずらす等の対応でやらない方が減っている ・口腔体操の効果でむせが軽減。 ・頑張り表での目に見えた評価ができ、状態や成果の評価につながっている。	・限られた時間内でのトレーニング実施の工夫 ・プログラムのバリエーションを増やす。 ・入浴との兼ね合いでスムーズに機能訓練ができない時があった。 ・機能訓練指導員が１名の時、個別対応に時間や内容の制限がある。サポート職員の検討。	・状況に応じてメニューを変更する。 ・入浴と機能訓練の順番の調整。
	5 稼働率の安定 ・ 利用率85%を目標にす		・コロナは5類となったが、接触による5日間の自宅待機は継続しており、利用できない方もいた。			・通院や私用でのお休み時は、利用日の

	る。(要介護者82%)定期的に新規利用を獲得する。 ・ 達成率：85%	生活相談員	・長期入所、ロングショート、体調不良や死亡、入院よる登録者の減少。ショート利用などで利用率が減った。 ・コロナクラスターでのデイ閉鎖、お盆、年末年始、悪天候等の稼働・利用減が大きかった。 ・全体での利用率73.2%	・新規利用者が契約増えてきている。 ・イレギュラー利用やスポット利用に対応した。 ・利用している利用者の口コミもあり、新規利用に繋がった。	・コロナ関連の休みが継続。 ・介護度の高い方は特に、入院、死亡、長期入所等の利用になる事が多い。	振替の声がけを継続する。 ・体調に合わせて時間短縮等の対応も検討していく。 ・さらに新規を獲得する。
ii	1 個々に応じたコミュニケーションやケア ・ カンファレンスを綿密に行い情報を共有していく。 ・ 毎回	介護職員	・ミーティングを活用して、情報共有及び綿密な事例検討を行なっている。	・朝・帰りのミーティング内で、細かな情報共有、危険事項の共有、体調等の共有が出来てきている。 ・統一事項なども検討、共有する意識が高まっている。 ・個々の行動・性格等情報共有がなされ、利用者が安心してご利用が出来てきている。 ・新規利用者の情報や、担当者会議録等は回覧し、目を通すよう徹底した	・出勤差がある職員との情報共有時間がなく、ミーティングシートだけでは共有できていない事や朝のミーティングでの申し送りが伝わらないこともあった。 ・紙面だけでの情報は捉え方の違いもある為、会議等で共有していく 。	・全職員が情報を共有できる方法として、ミーティングシートの確認全員が行う。 ・報連相の徹底と不明点の確認。 ・朝ミーティング参加した職員が、入浴介助者に内容を共有する。 ・個々のカンファレンスを更に行っていく。
	2 各職種との連携強化 ・ 居宅介護支援事業所との連携を深め、共同で課題解決しながら適切なサービスを行う。 ・ 毎月実施	生活相談員	・自事業所の居宅は行き来をして報連相や状況確認をしてもらうことができている。 ・他事業所は提供実績報告時に利用の様子が伝えられた。急ぐ時は電話や口頭での報告相談をし、プランに生かせている。	・利用者様のレベル低下による区分変更や通院 ・薬の変更、サービスの追加につなげた。 ・特に自事業所との連携が図れ、デイでの様子を確認してもらえている。	・ケアマネジャー、包括支援センター等との連携が必要でこまめに情報を取り合うことと、担当者会議への参加をする。 ・自法人内居宅・短期・デイの連携が出来ていない時があった。	・提供票の確認をしっかり行い、スケジュールをカレンダーに書き込みをする。 ・ 共有事項はメモやミーティング用紙に確実の記録する。
	3 職員の資質向上 ・ 毎月部署内研修を行なう。全体研修や外部研修への参加。ミーティングの充実を図る。 ・ 毎月実施	生活相談員	・全体研修会の参加、デイ会議時に、研修を行なった。 ・外部研修やオンライン研修へ参加した。 ・ 朝・夕にミーティングを行い、利用者カンファレンス等行っている。 ・事業計画反省の時に、自分がこの一年で貢献できた事、頑張った事を書いてもらった事で自分自身の振り返りにも繋がった。 ・満足度調査の結果を見て、現状の把握が出来た。	・研修で、知識を得たり再確認できた。 ・参加できない者は、資料読み込み振り返りでの学習となっている。 ・ミーティングや研修を通じて意識の向上や、利用者への向き合い方に役立っている。 ・お互い話しやすい環境ができている。	・全体研修会の参加率が低い。振り返りシート100%とならなかった。	・参加率を高めるための勤務表で調整する。 ・資料についての補足説明をする時間をとる。 ・テーマごとの研修をしたい。
	4 利用者・家族との連携 ・ 送迎時や電話、連絡帳での情報交換や相談に応じる。 ・ 毎回実施	生活相談員	・送迎時の情報交換や連絡帳への記入を行なった。 ・電話での連絡や相談にも応じた。	・家での様子や利用中の様子を送迎に伝え共有することが出来た。 ・利用時の様子の写真をこまめにプレゼントする事が出来た（家族からのコメント、利用者同士で見せ合ったり喜んでもらえている） ・利用日ではない時に、電話での相談があった。日々の関わりから生まれた事だと評価する。	・連絡帳を活用していなかったり、送迎時に在宅してない家族もおり、情報共有が難しい利用者もいた。	・お願い事や、伝えなければならない事項は電話、または口頭で伝える。 ・家族からの要望、検討事項、情報はミーティングシートにも記入し、職員間で共有する。

(3)　デイサービスセンター　活動・行事の実施状況

実施月	活動・行事　内容	実施月	活動・行事　内容
令和6年4月	お花見	10月	ヨガ呼吸法
5月	音楽療法	11月	音楽療法
6月	七夕工作	12月	忘年会
7月	ヨガ呼吸法	令和7年1月	ヨガ呼吸法
8月	音楽療法	2月	音楽療法
9月	敬老会	3月	動画観賞会

(4)　デイサービスセンター　会議・研修の開催状況

開催月	研修	会議	
	内容	実施日	内容
令和6年4月		12日	①活動について…前月お楽しみ会の振り返り、今月、次月の活動の確認 ②業務について…利用者対応、業務についての振り返り ③利用者について…入浴、食事、排泄について、新規利用者の確認 ④今月の研修について…全体研修、デイ研修の確認 ⑤所長より
5月		10日	
6月	報酬改定について	7日	
6月(4月分)	コミュニケーション：「伝える」ではなく「伝わる」よう話すコツ		
6月(5月分)	介護の接遇マナーとは		
7月	コンプライアンスについて	5日	
8月	介護技術：入浴時のヒートショック予防について	13日	
9月	安全対策：送迎時の緊急対応について	3日	
10月	介護技術：排泄（トイレ）介助の基本的手順と介助ポイント、注意点のまとめ	10日	
11月		7日	
12月		17日	
令和7年1月	介護技術：食事について	22日	
2月	認知症について		事業反省用紙配布
3月	認知症ケアのポイント	10日	①活動について…前月お楽しみ会の振り返り、今月、次月の活動の確認　②業務について…利用者対応、業務についての振り返り ③利用者について…入浴、食事、排泄について、新規利用者の確認　④今月の研修について…全体研修、デイ研修の確認　⑤所長より

18　あいぜんの里居宅介護支援事業所・在宅介護支援センターの事業報告

（1）居宅介護支援事業所運営状況

＜給付管理数＞

◆　予防

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	6年度	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46
	5年度	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	2	28
要支援1	6年度	15	18	18	18	18	19	16	17	18	17	19	20	213
	5年度	15	15	14	12	12	12	12	10	11	13	12	12	150
要支援2	6年度	13	12	14	16	16	16	16	16	20	18	18	16	191
	5年度	21	20	17	16	18	17	19	19	18	17	16	18	216
合計	6年度	31	33	36	38	38	39	36	37	42	39	41	40	450
	5年度	39	38	34	31	33	32	33	31	31	31	29	32	394

◆　要介護

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	6年度	31	32	29	25	26	30	32	31	29	31	32	32	360
	5年度	25	29	31	35	32	29	29	27	26	27	27	28	345
要介護2	6年度	25	26	26	31	29	30	27	24	24	26	23	26	317
	5年度	23	22	21	21	19	20	20	26	24	22	23	23	264
要介護3	6年度	13	12	12	14	15	16	16	15	17	17	14	17	178
	5年度	10	10	10	10	8	10	12	12	11	13	13	12	131
要介護4	6年度	3	7	6	6	6	7	9	9	11	10	11	11	96
	5年度	13	13	14	12	12	10	11	12	9	8	7	8	129
要介護5	6年度	3	3	4	4	3	3	5	2	5	3	2	2	39
	5年度	2	2	2	2	2	2	4	4	5	5	3	3	36
合計	6年度	75	80	77	80	79	86	89	81	86	87	82	88	990
	5年度	73	76	78	80	73	71	76	81	75	75	73	74	905

＜その他＞

居宅サービス計画作成依頼書受付件数	35件
認定調査件数	1件
介護支援専門員数	4名

※令和6年4月～12月までは3名体制

(2)在宅介護支援センター運営状況・地域支援の取り組み

◆相談総数

23件　（別紙　様式2「相談状況報告書」参照）

◆高齢者現況調査件数

12件

◆認知症サポーター養成講座の開催

年　月　日	内　　容	学年	人数	場　所
令和6年6月24日	認知症サポーター養成講座（大平中学校生徒）	3年生	28名	大平中学校
令和6年8月28日	認知症サポーターステップアップ講座（〃）	3年生	28名	大平中学校
令和7年1月28日	認知症サポーター養成講座（平田小学校生徒）	4年生	18名	平田小学校

◆福祉学習支援

【大平中学校】

年　月　日	内　　容	学　年	人数	場　所
令和6年5月21日	大平ソーランの披露	3年生	28名	あいぜんの里
令和6年5月30日	車いす操作、シーツ交換実技	2年生	19名	大平中学校
令和6年6月10日	価値観学習	2年生	19名	〃
令和6年6月24日	認知症サポーター養成講座	3年生	28名	〃
令和6年6月28日	ノーマライゼーション	1年生	34名	〃
令和6年7月5日	夏祭りボランティア	2年生	19名	〃
令和6年8月28日	認知症サポーターステップアップ講座	3年生	28名	〃
令和6年9月12日	コミュニケーション	1年生	34名	〃
令和6年10月29日	認知症劇の披露	3年生	28名	上平田ニュータウン集会所
令和6年11月12日	コミュニケーション実技	1年生	34名	上平田ニュータウン集会所 あいぜんの里

【唐丹中学校】

年　月　日	内　　容	学　年	人数	場　所
令和6年7月1日	福祉ボランティア活動	2、3年生	19名	あいぜんの里
令和6年7月31日	夏休みボランティア体験	希望者	7名	〃
令和6年8月7日	夏休みボランティア体験	希望者	9名	〃
令和6年10月9日	大石虎舞の披露	全校生徒	31名	〃

◆Pepper（感情を認識する人型ロボット）の貸出し

年　月　日	内　　容	学　年	人数	場　所
令和6年11月27日	情報モラル授業	6年生	19名	平田小学校
令和6年12月17日	情報モラル授業	6年生	17名	釜石小学校
令和6年12月18日	情報モラル授業	6年生	10名	唐丹小学校
令和7年1月28日	認知症サポーター養成講座	4年生	18名	平田小学校

◆つながるカフェの開催

年　月　日	内　　容	参加者	場　所
令和6年5月27日	第19回　平田こども園の園児との交流	13名	平田地区生活応援センター
令和6年6月12日	第20回　寺田先生による講話	8名	尾崎白浜集会所
令和6年7月22日	第21回　懐かしの映像でプレイバック	10名	平田地区生活応援センター
令和6年8月26日	第22回　釜石警察署による講話	20名	上平田ニュータウン集会所
令和6年9月30日	第23回　大平中学校１年生との交流	17名	上平田ニュータウン集会所
令和6年10月29日	第24回　大平中学校３年年生による認知症劇披露	15名	上平田ニュータウン集会所
令和6年11月25日	第25回　平田小学校１年生との交流	11名	平田地区生活応援センター
令和6年12月16日	第26回　祥雲支援学校高等部との交流	10名	祥雲支援学校
令和7年1月27日	第27回　新春お楽しみ会	19名	上平田ニュータウン集会所
令和7年2月19日	第28回　音楽療法	5名	尾崎白浜集会所

◆プラットホーム会議（つながるカフェについての定例会）

年　月　日	内　　容	出席者	場 所
令和6年4月22日	令和6年度のつながるカフェについて	サポーター、平田地区生活応援センター所長、清風会職員	平田地区生活応援センター
令和6年5月8日	つながるカフェ、地域課題などの検討	寺田理事、平田地区生活応援センター所長、清風会職員	あいぜんの里
令和6年7月31日			
令和6年8月28日			
令和6年11月6日			
令和6年12月18日			
令和7年1月22日			
令和7年2月19日			
令和7年3月6日	令和7年度つながるカフェについて	祥雲支援学校、大平中、平田小、平田こども園、平田地区生活応援センター所長、清風会職員	平田地区生活応援センター
令和7年3月12日	令和6年度つながるカフェ反省会	寺田理事、サポーター、平田地区生活応援センター所長、清風会職員	あいぜんの里

（様式2）

令和6年度　相談状況報告書

事業所名　あいぜんの里在宅介護支援センター

相談総数	新規	電話	来所	訪問	面会	その他
23	14	13	3	7		

独居	高齢者世帯	家族と同居	施設入所	その他
9	5	9		

区分	相談内容	のべ件数	要介護度等					再掲			
			要支援	要介護	申請中	自立	その他	身障	精神	知的	認知
1	介護に関する相談（申請・介護疲れ等家族の悩み）	18	2	3	4	9					
2	認定調査及び認定結果に関する相談										
3	住改修や福祉用具等に関する相談	7		1	5	1					
4	健康に関する相談（自分や家族の体が心配）										
5	施設の入退所に関する相談										
6	医療に関する相談（受診・入退院に関して）										
7	権利擁護事業に関する相談										
8	成年後見制度に関する相談										
9	虐待に関する相談										
10	介護保険外の諸制度に関する相談（身障・知的・精神等）										
11	経済的な相談（税金の未納・年金・借金等）										
12	家族間の悩みに関する相談（金銭トラブル等も含む）										
13	苦情に関する相談										
14	財産に関する相談（土地・住宅）										
15	認知症に関する相談										
16	精神症状に関する相談										
17	一般的な問い合わせ	2				2					1
18	状況確認（見守り）										
19	住宅に関する相談										
20	介護離職に関する事										
21	その他										
	合計	29	2	5	9	13					1

(3) あいぜんの里居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター令和6年度実践内容実施報告書

清風会 中長期計画 達成目標	利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、 法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』
あいぜんの里在宅介護支援センター実施目標	地域住民が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう包括的な支援を目指します。 Ⅰ 地域活動拠点として機能するよう推進します。 Ⅱ 誰もが住みよいまちづくりの取り組みを行います。 Ⅲ 利用者様の自立支援を目的とした質の高いケアマネジメントを目指します。
重点項目	ⅰ 住み慣れた地域で安心して生活ができる支援体制づくり ⅱ 地域の担い手づくり ⅲ ケアマネジメントの質の向上

	実践計画	実践ﾘｰﾀﾞｰ	実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
ⅰ	1 総合相談 ・釜石市地域包括支援センター（生活応援センター）と連携し、生活に関する困りごとへの相談受付、制度に関する情報提供等ワンストップの相談支援を行う。 ・高齢者実態調査の実施報告、関係機関と連携して困難事例への対応を行う。	所長	達成率100% スキルアップ研修の受講については達成できた。 相談受付を行い、関係機関と連携しながら困りごとや困難事例へ対応を行った。高齢者実態調査については計画に沿って実施したが調査拒否も多く見られた。	対応した一つの問題の中に多様な課題があることを知ることができた。総合相談の重要性についても理解することができた。	総合相談窓口としての質向上の取り組みまでは実施できなかった。	相談援助技術向上を目的とした具体的な計画を策定し取組みを行う。
	2 地域ニーズの把握 ・つながるカフェ参加者に対してニーズを実施する。 ・ケースワークの中での困難事例等から潜在的な課題を探る。	所長	達成率100% つながるカフェ開催中での聞き取りやアンケートにより参加者からのニーズ調査を実施した。	個々が感じている生活ニーズを拾うことができた。そこから地域課題が見て取れている。	支援を必要とする人が埋もれてしまわないような取り組みを継続的に行っていくことが必要。	多職種、他機関との連携強化、カフェでの相談窓口の設置等により、地域ニーズに対する取り組みを行う。
	3 「つながるカフェ」の開催 他機関と連携しカフェを開催し、総合相談、学び、生活支援、見守り、交流、人材育成の機能を果たす。地区ごとのサポーター、関係機関と連携しながらカフェの開催を行う。	所長	達成率100% 3つの地区で実施。いろいろなメニューを取り入れながら、予定通り10回開催することができた。	地域の方々の交流の拠点となり、地域資源としての認知度が高まってきている。サポーターの役割についても理解が深まってきている。	カフェ事業が将来を担う人材の育成や確保ができる場となるよう、安定的に継続していくことが必要。	地区ごとに区分けして新規サポーターの参加促進を図る。また、新たな取り組みとして高校生の参加や食や運動に関する内容を盛り込んでいきたい。
ⅱ	Ⅰ 「福祉学習」の支援 釜石市立大平中学校、平田小学校で「福祉学習」を行い、ノーマライゼーションの理解を広め、将来のまちづくりを担う子どもたちを育成する。	所長	達成率100% 学習、交流とも予定通り開催でき、その一環としてつながるカフェへの参加交流を実施することができた。	中学3年間の福祉学習の集大成として認知症劇の発表があり、1学年は座学での学びの実践の場としてコミュニティカフェへ参加するなど、福祉に関する知識や意識が高まった。	福祉学習の在り方について、今後の課題を含めて、学校側と共通認識が深めることが必要。	福祉学習について、内容のブラッシュアップ、他校へ横展開ができるよう関係機関との協議、法人内での役割分担を検討する。
	2 認知症サポーター養成講座の開催 認知症になっても住み慣れた地域で最後まで生活ができるよう、地域住民、小中学校などで認知症サポーター養成講座を開催し地域の中に認知症サポーターを養成する。	所長	達成率100% 小中学生対象に認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を実施した。地域での開催は包括支援センターでの対応となり機会はなかった。	講座を通して関係機関との連携を図ることができた。	まだ開催していない地区での活動を検討するなど、認知症サポーター養成に対する協力体制を継続することが必要。	大平、嬉石、松原地区での開催を検討する。行政や民生委員、地域の関係者と連携しながら取り組んでいく。
ⅲ	Ⅰ 介護支援専門員の質の向上 ・個々の目標に沿った研修に参加し、より専門的な知識や技術を学ぶ。 ・事例検討会やケース検討（終了ケース振り返り）、ケアプラン点検を開催する。 ・他事業所、利用者からサービス評価を受ける。	管理者	達成率50% 個々の目標に沿った外部研修や事例検討会への参加を通して、知識や技術を学ぶことができた。計画していたサービス評価については準備不足で実施できなかった。	研修や事例検討を通して新たに得た知識や考え方スキルなどを業務に活かすことができている。	困難ケースについてはミーティングや定例会議で検討するなど情報共有した。ケアプランの内容点検までは実施できなかったが、規定通りの内容で実施しているかどうかの確認は実施した。	ケアプランについて、自立支援の目的に沿ったものであるかどうか等、質や内容について深める機会を持つ。
	2 関係機関との連携強化 退院時のカンファレンスや地域ケア会議等へ参加し、医療機関やインフォーマルサービスを含めたサービス提供者と情報共有しながら、多職種でのチームケアを提供する。	管理者	達成率70% 地域ケア会議は予定通り参加、退院時カンファレンスは開催されたものについては出席し連携を図ったが機会は少なかった。	地域ケア個別会議では多職種や地域住民の参加があり、それぞれの意見を参考にしながらケアの方向性を検討することができ参考になった。	感染症の影響により書面によるカンファレンスや電話等でのやりとりが主となり、十分な連携を図れない場面があった。	関係機関との連絡調整や情報共有を徹底し、利用者が必要とする支援が確実に提供できるようにする。
	3 給付管理数の確保及び安定した経営 ・担当目標件数を達成できるよう、新規プラン作成を積極的に受け入れるとともに、1人ひとり丁寧に関わり、適切なケアマネジメントを提供する。 ・制度に沿ったケアマネジメントができるよう業務マニュアルの検討を行う。	管理者	達成率85% 依頼があった場合には断ることなく受け入れしたが、目標の給付件数まで達しなかった。今年度はBCPの取り組みを行い、業務マニュアルの検討までは実施できなかった。	丁寧な対応を心掛け、苦情受付はなかった。 特定事業所、入退院にかかる連携加算は漏れのないように取得できている。	新規受け入れをしても入院入所や亡くなることが多く、短期間での終了ケースが増えており給付数の安定が難しい。	必要なサービス利用につなぎ、安定して在宅生活が続けられるよう適切にケアマネジメントを実施していく。

(4) あいぜんの里在宅介護支援事業所・在宅介護支援センター事業所内研修開催状況

開催年月日	研　修　内　容
令和6年6月17日	支える事例検討会伝達研修
令和6年7月18日	第1回合同事例検討会
令和6年11月21日	第2回合同事例検討会（BCP研修）
令和6年12月11日	権利擁護研修会伝達研修

◆ あいぜんの里居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター定例会議開催状況

開催年月日	主　な　議　題　等
令和6年4月11日	各ケアマネ進捗状況報告、在介業務報告、管理職から
令和6年5月10日	
令和6年6月13日	
令和6年7月10日	
令和6年8月13日	
令和6年9月11日	
令和6年10月11日	
令和6年11月11日	
令和6年12月11日	
令和7年1月17日	
令和7年2月10日	
令和7年3月10日	

19　各種委員会の活動報告

令和６年度　安全衛生委員会　活動報告

≪活動目標≫

社会福祉法人清風会が運営する各事業所の労働環境の改善と事故・疾病等の予防のため、安全衛生委員会規程に基づく安全衛生管理活動を円滑に推進する。

≪重点目標≫

(1)長時間労働の原因や高ストレスの要因を分析し措置を講ずることによりメンタルヘルス不調による休職者を発生させない。
(2)業務作業手順の見直しに関する動機付けを行い、見直しから周知までを習慣化していくことにより労働中の事故を発生させない。
(3)職場環境の保全を図るための5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、躾け)を推進する。
(4)安全衛生教育(腰痛防止、セルフケア、ラインケア、新人研修、復職時研修等)を充実させる。
(5)メンタルヘルス不調の兆候や対応について学ぶ。

≪活動実績≫

月	項目	実施内容等	実施結果
4	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第２条(調査審議事項)の各事項に関する調査・審議 ② 安全衛生委員会委員が同行、確認	① 4/18開催 令和６年度の活動計画についての内容、委員会の開始時刻等の変更についての確認が行われ、次回から12時15分からの開催となった。 ② 事務室：安全面に配慮した整理整頓を心掛けるようにとの指摘があった。
5	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第２条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ② 安全衛生委員会委員対象	① 5/16開催 ・通勤災害１件：終業後に帰宅途中、転倒による骨折で病院受診。(休業へ) ・昨年の同時期には送迎中に蜂に刺されるという労災もあったので各自注意するようにと注意喚起を行った。 ② 内容：メンタル不調の兆候の見分け方について、自覚症状や行動、メンタル不調者への対応方法について。

6	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視 ③労働災害事故撲滅月間 ④ストレスチェック	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員が同行、確認 ③ポスター等作成・掲示(環境整備) ④全職員対象(入職 1 年未満の準職員を除く)	① 6/20 開催 衛生管理者より労働災害の発生状況と転倒等リスク評価セルフチェック表の資料提供があった。 ② 支援：消火栓の開閉及び操作時に支障が生じないように周囲の空間を常に確保するようにとの指示を受けた。 ③ ポスター掲示をした。 「STOP　熱中症」 (担当：事務室) ④ ストレスチェック実施。 72 名受診。 内、未回答 2 名。
7	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員対象	① 7/18 開催 産業医から感染予防に気を付けること、こまめな水分補給や休憩を取りながら熱中症対策をして体調管理に努めるようにとの話があった。 ② 内容：うつ病の外因や対応で注意すべきことについて ○定期健康診断実施。 7/25　72 名、8/6　3 名、8/24　4 名　計 79 名受診
8	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視 ③メンタルヘルスケア研修	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員が同行、確認 ③全職員対象 (講師：産業医　)	① 8/29 開催 ・通勤災害：1 件 出勤時の転倒によるもので病院受診。 ・ストレスチェックの結果について分析説明があった。 ② デイサービス：洗面台脇の消火器の周囲の整理整頓を指摘された。 ③ 日程の調整がつかず延期となった。

9	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会 ③定期健康診断 ④ハラスメント研修	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員対象 ③全職員対象(協会けんぽ一般健康診断、一般健康診断) ④対象者　主任以上、希望者 (講師：臨床心理士)	① 9/19 開催 7月と8月に実施した健康診断の分析結果について話があった。 ② 内容：メンタルサポートをする人の心構えについて。 ③ 7月と8月に実施。 ④ 臨床心理士との日程調整がつかず行わなかった。
10	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ② 安全衛生委員会委員が同行、確認	① 10/17 開催 衛生管理者より、施設内の整理整頓を心掛け危機管理をしっかりするようにとの話があった。 ② 特養：排煙装置前の物品の撤去と介護士ディスクスペース周辺の整理整頓の指摘を受けた。 〇メンタルヘルス研修：8月に予定していたメンタルヘルス研修の代替として実施。
11	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会 ③労働災害事故撲滅月間Ⅱ	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議(主にストレスチェック結果分析、措置に関すること) ②安全衛生委員会委員対象 ③ ・冬期間の安全運転講習会(防災・車両の安全運行委員会と共催) ・ポスター等作成、掲示(交通安全)	①②11/21 開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症クラスター発生のため中止した。 ③ 冬期間の安全運転講習会は 12 月に延期した。

12	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ・4 月～11 月までの活動反省 ・次年度の活動計画協議、作成 ② 安全衛生委員会委員が同行、確認	①12/19 開催 今年度の活動反省と次年度の活動計画の協議をした。 ユニット：室温時計の電池交換、消火栓前の平行棒の移動、汚物処理室を整理するようにとの指摘を受けた。 ○11 月に予定していた冬期間の安全運転講習会を実施。(防災・車両の安全運行委員会と共催) 映像を中心とした研修を行った。 ○ポスター等作成と掲示 「冬道運転の 5 原則」 (作成：支援)
1	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員対象	① 1/16 開催 施設内のごみ箱にたばこの吸い殻が捨ててあったとの報告があり、敷地内禁煙について各部署への周知を改めてお願いした。 ② 内容：ストレスとの付き合い方について ○定期健康診断 1/30 実施。63 名受診、未受診者 13 名は 2 月と 3 月に実施。
2	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視 ③作業手順の見直し	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員が同行、確認 ③業務に係る作業手順の見直しを各事業所へ指示	① 2/20 開催 衛生管理者より、職場の労働安全衛生の基礎知識と取組についての資料提供があり、職務中の服装について、再確認と管理の徹底をするようにとの話があった。 ②医務室：指摘事項なし。 給食室：指摘事項なし。 ③各事業所の業務に係る作業手順の見直しを指示した。
3	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会 ③定期健康診断	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議	①3/27 開催 令和 6 年度の活動反省と令和 7 年度の活動計画についての確認をした。 ②離職者の原因と対応について

		・7 年度事業、委員会構成員について ②安全衛生委員会委員対象 ③ 全職員対象（一般検診）	③1/30 実施。63 名受診。未受診者 15 名については 2 月から 3 月にかけて予備日を設けて実施した。

≪活動反省と次年度への課題≫

・令和 6 年度から始めた産業医によるミニ勉強会は、ポイントを押さえて回数を重ねて繰り返していく必要があるので令和 7 年度も継続して行う。
・業務作業手順の見直しに関する動機付け、見直しからの周知迄の習慣化を継続して行っていく。
・５Ｓ活動（整理、整頓、清掃、清潔、躾け）では整理整頓についての指摘事項が多く保全をとるという意味ではまだまだ取り組みが必要である。
・安全衛生教育を充実させるという面では、新人研修・復職時研修が継続して実施できていないので、令和 7 年度も継続して取り組む。
・ハラスメント研修については講師との調整ができなく機会を逃してしまった。令和 7 年度は調整の機会を逃さないようにする。

令和６年度　研修委員会　活動報告

≪活動目標≫
・基本理念である、利用者様に対して「優しく・温かく・明るく」サービス提供ができる職員を育成する。

≪重点目標≫
・法人職員として、一人ひとりのスキルアップを目指すために「全体研修会」「各部署研修会」を開催し、施設サービスの平準化を図る。

≪活動実績≫

項　　目	実施内容	実施結果
1. 研修会の開催	・全体研修会 令和６年度の事業計画、各種マニュアルの周知を図り利用者様の生活を高めるケアの質改善に向けた研修会を開催し、求められる基本的な知識・技術の習得を図る。	感染症の影響もあり予定通りにはいかなかったが、日程調整を行いながら、計画していた内容は実施することができた。 ≪次年度の課題として≫ 参加者が少なく、研修の効果は低かった。毎年の課題ではあるが、実施方法を含め参加意欲を高めることができる研修の在り方についての検討が必要。
	・各部署研修会 研修内容に沿って利用者様のケア方法の問題点が改善でき、求められる知識・技術の再確認を行うことでサービスの質の向上を目指す。	計画通り実施できた。

≪　全体研修会　≫

月	研修内容	講　師（担当）	実施結果
4	令和６年度事業計画について	法人事務局	全体会議として開催 4月 18 日 ※理事長講話については開催できなかった。
5	災害に係る業務継続計画について	防災委員会	集合研修として開催 5月 15 日
6	リスクマネジメント （事故発生時・救急時の対応・再発防止について）	安全対策委員会	集合研修として開催 6月 19 日
7			
8	身体拘束・虐待の防止について		集合研修として開催 8月 29 日
9			
10	ストレスマネジメントについて	安全衛生委員会	資料配布にて研修を開催
11			
12	・冬の雪道安全運転について ・新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画について	防災委員会 感染症対策委員会	集合研修として開催 12月 18 日
1			
2	プライバシーの保護について	研修委員会	資料配布にて研修を開催
3	感染症又は食中毒及びまん延防止について	感染症対策委員会 給食委員会	集合研修として開催 3月 19 日

令和６年度　広報委員会　活動報告

≪活動目標≫

利用者の人権・人格を尊重した上で広報「清風」を発行し、あいぜんの里を広く伝える。

≪重点目標≫

・利用者の行事での様子や、クラブ活動での様子をご家族や外部に伝える。
・委員会や各事業所などの取り組みを通して施設の様子を伝える。
・ボランティアや地域との連携を伝える。

≪活動計画≫

・初夏号、秋号、早春号　年３回の広報紙「清風」を発行する。
・施設入所者の「担当より一言」「写真」を同封する。
・「医務・栄養だより」「状況によりボランティア紹介」「寄付・寄贈紹介」「つながるカフェ」「支援センターだより」「機能訓練だより」「新入職員紹介」は随時掲載とする。
・インシデントは別紙で添付する。

≪活動実績≫

月	実施内容等	実施結果
４月 ５月	第１回広報委員会	・新委員会顔合わせ ・年３回の発行を確認した。 ・初夏号の内容協議
６月	広報発行	「初夏号」発送 インシデント統計（令和５年度）添付
９月 10月	第２回広報委員会	・秋号の内容の協議
11月	広報発行	「秋号」発送 インシデント統計（令和６年度上期）添付
１月 ２月	第３回広報委員会	・早春号の内容の協議 ・今年度の反省 ・次年度の活動計画
３月	広報発行	「早春号」発送

≪活動反省と次年度への課題≫

・予定通りに委員会の開催ができなかった。次年度は委員会の開催を予定通りに開催できるよう調整する。
・産休・育休や職員の異動に伴って広報委員の変更はあったが、どの職員も広報作成は滞りなくできた。
・日頃から写真を撮りため、各委員の写真の選択も良く、また、印刷所の製作担当者にもレイアウト、修正を依頼し、毎号楽しい広報ができたと評価する。

令和６年度　感染症対策委員会　活動報告

≪活動目標≫

感染管理活動の基本となる委員会として、感染予防及び再発防止対策並びにクラスター発生時の迅速な対応等、施設における対策体制を確立し適切かつ安全で質の高い支援を行う。

≪重点目標≫

1. 施設内全般の衛生管理の徹底。
2. 感染症や食中毒の予防及びまん延防止のための対策を検討し、介護職員その他の職員に周知徹底を図る。
3. 感染症や食中毒の予防及びまん延の防止のための指針やマニュアルの見直しを行う。
4. 感染症や食中毒の予防及びまん延の防止のための研修、訓練を定期的に実施する。
5. 委員会の定期及び随時の開催

≪活動実績≫

項　　目	実施内容等	実施結果
1. 衛生管理について ①標準予防策の徹底 ②加湿器設置・撤去 ③介助時における衛生管理	①出勤時の職員の体温チェック、標準予防策の周知徹底。 ②加湿器は例年11月に設置、５月に撤去しているが、状況に合わせて設置、撤去を指示する。 ③食事や排泄介助時等のルールを徹底させる。	①②③安全衛生委員会並びに主任者会議において呼びかけを実施。 ・体温チェックは全部署実施できた。 ・加湿器は床暖房開始、停止時に併せて実施した。 ・予防策、ルールも随時注意喚起した。
2. 感染症予防・まん延防止対策	・ノロキット設置場所並びに交換サイクルの設定、設置 ・次亜塩素酸水やディスポ予防衣等の必要物品、消耗品の確認。 ・各部署での感染対策の実施状況の把握と評価、改善点を検討する。	・設置場所を変更し、また必要物品の交換、補充を行った。 ・消耗品等については、事務職員が速やかに購入、補充した。 ・各部署の感染対策状況の把握等については委員会の開催のつど実施。
3. 指針、マニュアル等の整備	・ノロ、インフルエンザ、MRSA、疥癬、褥瘡予防対策等に係るマニュアルの見直し、作成 ・新興感染症対策の検討・周知、マニュアルの作成 ・感染症発生時における事業継続計画（BCP）見直しへの参画	・「感染症及び食中毒の予防・まん延防止のための指針」の見直し実施（10/1） ・マニュアルの見直しは感染対策担当を中心に実施した。 ・BCPの見直し作業は２月に開始し、改訂版完成に向けて取りまとめ中である。

4. 研修、訓練の実施	・指針やマニュアルに基づく研修、実技の実施。 ・BCP による研修、訓練の実施。	・12 月、3 月に実施した。3 月の全体研修会においては、ノロキットを用いて予防衣等の着脱から吐物処理までの実技を行った。
5. 委員会について	・感染症や食中毒等の情報を関係医師、関係各機関から収集し、会議、研修会、掲示板等を通して周知を図る。 ・おおむね 3 ヶ月に 1 回以上の開催とし、必要があれば、委員長が委員を招集することとする。 ・感染症等発生時は、委員長の指揮を補佐し活動する。	・感染症等の情報については安全衛生委員会にて産業医等を通じて収集、参加委員が各部へ周知した。 ・委員会の開催については、6 回開催した。 （5/23、7/11、10/10、1/27、2/17、3/17） ・新型コロナウイルス感染症発生時には当委員会ではなく運営会議において協議を行った。委員会が機能しなかった。発生時の活動については今後の課題。

令和６年度　安全対策委員会　活動報告

≪活動目標≫
・事故(医療事故、介護事故、苦情等)発生の防止及び再発防止のための対策を検討する。
・安全で適切な質の高いケアを提供する体制の整備を行う。
・各部署、各委員会と連携を取り職員個々の安全に関する気付きを促進する。

≪重点目標≫
・事故報告書作成マニュアルの作成、既存マニュアル及び指針の見直しを行ない、全職員へ周知する。
・毎月、事故報告書の内容を確認し、又は提出された困難事例について検討し必要に応じて今後の対応策等について周知を図る。
・重大な事故が発生した場合には随時委員会を開催し、事故分析、改善策の検討を行う。
・福祉用具等の計画的な点検の実施、及び修繕等の迅速処理ができる体制を確立し、使用者が安心・安全に使用できる。
・ヒヤリハット報告書並びに事故報告書の活用等に係る啓蒙活動又は研修により職員個々のスキルアップを図る。

≪活動実績≫

月	項　　目	実施内容等	実施結果
4	・活動計画周知 ・広報、ホームページへの情報公開 ・事故報告書作成マニュアルの作成	・全体会議で活動計画の周知を図る。 ・令和５年度の事故データ等を集計し、広報、ホームページの情報公開資料を作成る。 ・事故報告書作成マニュアルを作成する。	・4/12 委員会を開催。3 月のデータ分析報告、令和６年度の計画確認、今後のスケジュールを決定。 ・4/18 全体会議で令和６年度の活動計画を説明。 ・情報公開は次月以降とした。
5	・福祉用具等の点検 ・福祉用具等の修理依頼等の仕組み作り ・事故報告書作成マニュアルの周知に向けた活動	・各部署担当者を中心に点検実施。 ・福祉用具等の修繕が速やかにできる仕組み作りを行う。 ・事故報告書作成マニュアルをもとに勉強会を実施し変更点等を協議	・5/10 委員会開催。重大事故、困難事例なし。 ・施設整備担当に、点検を依頼した。

6	・福祉用具等の点検 ・福祉用具等の修理依頼等の仕組み作り ・事故報告書作成マニュアルの周知に向けた活動	・各部署担当者を中心に点検実施。 ・福祉用具等の修繕等が速やかにできる仕組み作りを行う。 ・事故報告書作成マニュアルをもとに勉強会を実施し、変更点を協議。	・6/10 委員会を開催。重大事故、困難事例なし。 ・広報春号で行う令和 5 年度の事故集計情報公開資料作成。 ・6/19 全体研修会【リスクマネジメント】実施。 講師～ユニット副主任
7	・福祉用具等の点検	・各部署担当者を中心に点検実施。	・7/8 委員会を開催。重大事故、困難事例なし。
8	・福祉用具等の点検	・各部署担当者を中心に点検実施。	・8/12 委員会を開催。重大事故、困難事例なし。
9	・事故発生防止啓蒙活動	・ヒヤリハット報告等のポスター又はレジメを作成し掲示する。	・9/9 委員会を開催。重大事故、困難事例なし。 ・9/16 従来型特養研修会【事故報告書の作成について】実施。講師～特養副主任 ・9/1 デイサービス研修会【送迎時の緊急対応について】実施。担当～デイ機能訓練指導員
10	・広報、ホームページへの情報公開	・上半期の事故データ等を収集し、ホームページへの情報公開資料を作成する。 ・研修委員会と調整し、研修会を開催する。	・10/7 委員会を開催。 ・広報秋号で行う令和 6 年度上半期分の事故集計情報公開資料を作成。
11			・従来型特養にて、クラスター発生の為、委員会開催できず。
12			・12/9 委員会を開催。重大事故、困難事例なし。 ・令和 6 年度の活動反省と令和 7 年度の計画案の協議を次月に行う事とした。
1	・令和 6 年度の活動反省と令和 7 年度の活動計画の作成	・令和 6 年度の振り返りと令和 7 年度の活動計画の作成。	・ユニット型特養にて、クラスター発生の為、委員会開催できず。
2			・2/6 委員会を開催。従来型特養にて、困難事例 1 件 ・令和 6 年度の反省と令和 7 年度の計画について検討した。

3			・3/6　委員会を開催。従来型特養にて、困難事例１件 ・3/21 ユニット型特養研修会【リスクマネジメント】開催。講師～ユニット副主任

≪活動反省と次年度への課題≫

・福祉用具の点検について、施設整備担当の業務上の関係や引継ぎ等の問題により実施できなかった。点検台数や点検項目も多い為、データを共有しながら通年で点検を実施し、年度末をもって報告するようにする。

・『ヒヤリハット』の報告が少ない。危険予測やケアの気付きの機会を増やすため、様式の簡略化や『ヒヤリハット』報告に関する啓蒙活動を行う必要がある。

・委員会の在り方の再検討。まずは各部署で検討し解決できない課題(困難事例、重大事故等)を安全対策委員会へ報告、委員で検討というシステムの定着化。。

・委員会開催回数の変更について、『事故発生の防止のための指針』にて、“毎月１回の開催”との記載がある。委員会の開催回数含め見直しを行う。

令和６年度　高齢者虐待防止検討委員会　活動報告

令和６年度新規に設置された委員会であり、正規の活動計画が作成されていないなかにも指針に則り委員会活動を行った。

利用者の尊厳の保持、人格の尊重を重視し、虐待の防止に取り組むとともに、虐待の早期発見、早期対応、再発防止策等について検討・協議を行い、虐待のない施設環境づくりを行っていくことを目標に取り組んだ。令和６年度は、４回開催した。

≪活動実績≫

月	項目	実施結果
６月	委員会の開催	①虐待防止担当者の選定 ・事業所ごとに選定（３名）した。 ②高齢者虐待防止のための指針（令和６年１月施行）の内容を確認した。 ③高齢者虐待防止マニュアル（案）について協議し、改善点の確認を行った。 ④全体研修会担当者３名の選定。 ⑤虐待の芽チェックリストの活用について共有した。 ⑥令和６年度の委員会開催回数を協議。４回の開催を目標とした。
７月	研修会の開催	高齢者虐待防止・身体拘束適正化に関する研修会を開催。
８月 ～９月	啓発・意識向上への取組 （アンケートの実施）	虐待の芽チェックリストを全職員対象に配布・回収。72名（85%）から回答を得た。
９月	委員会の開催	不適切ケア等の確認　他 ・虐待の芽チェックリストの集計結果を共有。 不適切ケア等の意識付けになったと評価。継続して実施することとした。 ・研修の評価を行った。委員会設置の理由も含めて理解を深めたと評価する。
１月	委員会の開催	不適切ケア等の確認（特になし） 令和７年度への課題（委員会活動計画案の作成他）について協議した。
３月	委員会の開催	・不適切ケア等の確認。事故発生時の要因分析のためには時系列で把握していることが大切であることを共有した。 ・令和７年度活動計画案の作成を行った。

令和６年度　身体拘束廃止委員会　活動報告

≪活動目標≫

利用者様の「自由」と「誇り」と「生活の質」を損なわないケアを確立していくことを目的として身体拘束ゼロの施設を目指す。

≪重点目標≫

① 日常ケアに留意して身体拘束を行わない代替的な方法・知識を周知し、支援方法の創意工夫に努める。

② 利用者の状態に応じ緊急やむを得ない場合の身体拘束についての検討を行い、身体拘束に対して正しい理解を深め、適切な対応・記録を行う。

≪活動実績≫

項　　目	実施内容等	実施結果
1. 身体等の拘束廃止に向けた勉強会、研修会を開催する。	・全体研修会の開催。マニュアル・行動指針の周知、拘束を必要としないケアの勉強会を行う。(年２回) ・会議にて現状の振り返りを行い、現状把握と困難事例の検討会を行う。４月,７月,10月, １月（３ヵ月に１回開催） ・サービス利用者の状態を確認して緊急やむを得なく身体拘束の検討が必要な場合は、速やかに関係者を招集して委員会を開催する。（随時）	・全体研修会、特養・ユニット会議にて実施。（10月、２月） ・委員会開催時、現状の報告し、検討を実施。現在は拘束０の状況ではあるが、定期の委員会開催ができなかった。 改善策として開催月だけでなく具体的に日時を決めて予め委員の職員が出席するように設定する。
2. 身体拘束廃止に向けた行動指針、マニュアルの見直しを行なう。	・マニュアルの見直しを行う。(６月末) ・行動指針の見直しを行う。(６月末) ・研修会・会議を通じ全職員へ伝達し内容の周知徹底を行う。	・指針・手順書の内容精査し、職種、メンバー構成の変更を行なった。指針、マニュアルは研修会にて各職員へ配布。

≪活動反省と次年度への課題≫

・やむを得ず身体拘束の実施をすることはなかった。

・日常的で、身体拘束の定義に該当しない行為としても、無意識のうちに尊厳・自由を制限していないかケアの適切性を問い直し、最善は何かを委員会で検討、提案しひとりひとりの気づきが、拘束の廃止・虐待防止につながることを委員会のみではなく法人全体として共有できるように研修会にて伝達していく。

令和６年度　栄養管理委員会　活動報告

《活動目標》
・利用者様の食歴や身体状況、嗜好といった個人差を考慮し、食生活を通して喜びや楽しみを組み込んだ食事の提供を行う。
・利用者様の身体状況に応じた栄養給与、安全衛生に配慮した給食の実施に向けて関係職員の共有化を図る。
・給食と施設内職員の相互理解と情報交換を図る。
《重点目標》
・利用者様の食の喜びや楽しみを組み込んだ食事・行事食の提供を行う。

《活動実績》

項　　目	実施内容等	実施結果
①食事サービスに関すること	①利用者様の食歴・身体状況、嗜好等の個人差を考慮し、食生活を通して食の喜びや楽しみを組み込んだ食事や行事食の提供に努める。	①　【食の楽しみ・行事食の提供】 ・誕生日メニュー提供（毎月） ・季節毎のメニュー提供（毎月） ・オープンカフェ実施（毎週１回） ・ケーキバイキング実施（毎月１回） ・長寿を祝う会メニュー提供（9月）
②献立に関すること	②利用者様の身体状況に応じた栄養給与の提供 ・季節感のある献立や、利用者様の嗜好に考慮した食事提供に努める。	②　・食事摂取基準・個別栄養価の見直しを行った。令和７年度は、個別の身体状況に応じた栄養価の提供方法を検討する。 ・嘱託医・歯科医の指示のもと、多職種連携にて、利用者様に合う食種の検討・変更を行った。令和７年度は、咀嚼嚥下機能に応じた食事形態を検討する ※令和７年度も引き続き、食事内容・食事形態等、多職種と情報交換を行いながら、個別の身体状況に応じた食事提供に取り組む。
③衛生管理に関すること	③安全衛生に配慮した食事の実施に向けて、職員の衛生管理の徹底に努める	③　・11月：ユニットにて、コロナウイルス感染症発生。感染拡大予防対策として、食事を全員分厨房内で盛付・配膳にて個別提供。 ・3月：感染症予防対策について、全体研修会にて情報提供を行った(感染対策委員会)。
④備品に関すること	④食器、調理器具等、消耗による変色や破損の入れ替え・補充 ・自助具の補充を充実させ自立摂取を支援する	④　・使用頻度の多いまな板・コップ・スプーン・汁椀等の補充を行った。ご飯茶碗・ソフト食用の調理器具等は、令和７年度へ繰り越し。 ・厨房内機器の点検修理については、設備担当と連携のもと速やかに対応できた。
⑤その他	⑤緊急時の対応については各部署と協議する事とする。	⑤ 非常時(感染症・災害等)対応の見直し・検討を行う。令和７年度も継続。

令和６年度　防災・車両の安全運行委員会活動報告

≪活動目標≫

・防火管理業務の適正を図る。
・防災マニュアルの見直しを行う。
・総合防災訓練の実施、反省、改善を行う。
・全職員を対象とし、防災教育と安全運転教育を行う。
・緊急連絡網を運用する。

≪活動実績≫

月	実施内容等	実施結果
4	1 委員会活動（前年度委員による） ・自衛消防隊の任務の確認 2 春の交通安全 ・新入学時期の交通安全の呼びかけ	4/18　委員会の開催 左記の他 緊急連絡網の配布について協議した。 2　新入学時期の交通安全の呼びかけについては、具体的に取組めなかった。
5	1 委員会の開催 総合防災訓練の計画 ・日程調整、実施内容の検討 ・消防署への実施計画の提出 ・避難路、防災設備の点検整備	5/13　委員会の開催 ・防災訓練の日程調整（6/17 から 6/24 に変更）並びに実施内容の協議を行った。 ・消防署への提出物の作成、連絡実施。 ・防火設備の取り扱い説明（委員の教育）を実施。
6	1 委員会の開催 ・総合防災訓練に向けての確認 ・地震発生想定訓練の計画 日程調整、実施内容の検討 2 総合防災訓練の実施 ・通報、避難、消火訓練 ・日中想定（施設全体訓練） ・関係各機関との反省会の開催	6/3　委員会の開催 ・地震発生想定訓練の日程確認、実施内容の確認 ・防災訓練の内容確認 通報、避難、消火訓練 6/24　日中想定訓練の実施 ・以前消防立入検査時に口頭指導があった事項（中央通路部に設置されている植物等）について主任者会議の議題として提出した（6/17）
7	1 委員会の開催 総合防災訓練の反省 2 地震発生想定訓練の実施 地震発生想定訓練の実施 日中想定	7/1　委員会の開催 ・総合防災訓練の反省 ・地震発生想定訓練については、7 月に実施できなかったので 8 月に実施するよう日程調整並びに実施内容の検討を行った。

8	1委員会の開催 地震発生想定訓練の反省 （防災マニュアルの見直し） 施設車輌の状況確認	8/5　委員会の開催 ・地震発生想定訓練の流れの再確認 ・10月予定の防災訓練の日程について 10月24日実施することで調整 8/23　地震発生想定訓練実施 （館内放送、避難誘導訓練）
9	1委員会の開催 総合防災訓練の計画 日程調整、実施内容の検討 消防署への実施計画の提出 避難路、防火設備の点検整備	9/2　委員会の開催 ・8月地震想定訓練の反省 ・防災訓練（夜間想定）の内容確認 ・10月の委員会開催時に避難経路、防火設備の点検を実施する旨周知
10	1委員会の開催 総合防災訓練に向けての確認 総合防災訓練の実施 通報、避難、消火訓練 夜間想定（発生場所指定） 自動通報訓練 関係各機関との反省会の開催	10/7　委員会の開催 ・防災訓練（10月24日夜間想定）の職員の動きの確認（通報、避難、消火器、消火栓訓練） ・避難経路、防災設備の再点検を実施
11	1委員会の開催 総合防災訓練の反省（マニュアルの見直し） 全体研修会の内容の検討	11/11　委員会の開催 ・施設内コロナ感染の為開催出来ず
12	1委員会の開催 2防災、全体研修実施 3地域貢献	12/9　委員会の開催 ・10月の防災訓練(夜間想定の反省) ・全体研修会の内容確認 12/18　全体研修会開催 ・雪道車輌運転ＤＶＤ 地域貢献 凍結路に塩化カルシウムの散布は未実施
1	1委員会の開催 令和6年度の活動反省 令和7年度の活動計画の検討	1/6　委員会の開催 ・令和6年度の活動反省を行った。 ・令和7年度の活動計画の検討を実施した。
2	1委員会の開催 今年度の活動の反省 次年度の活動計画の検討	2/3　委員会の開催 ・令和7年度の活動計画を作成した。
3	1委員会の開催	①　防災設備の点検を実施した。

≪活動の反省≫
・令和6年度は非常用食品の入れ替え未実施。
・全体研修会でのDVDを見た後の意見交換が必要だった。
・地震想定訓練での建物確認の際、連携が取れていなかった。
≪次年度の課題≫
・BCPの見直しを行う。
・非常用食品の入れ替えについて計画的に実施する。
・防災訓練、地震想定訓練については日時を伝えず（実際に即した形）に実施することを検討する。